

資料



大会趣旨

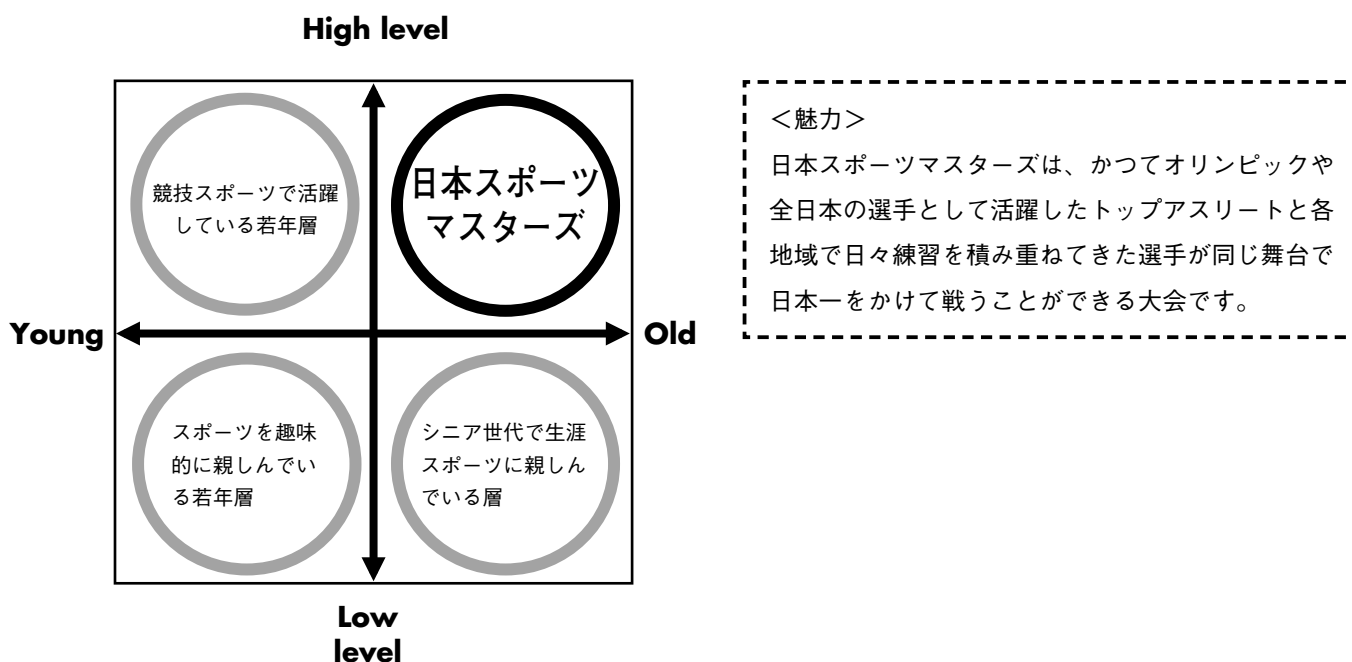
大会趣旨

21世紀の国民スポーツの推進を図るにあたっては、国民の一人ひとりがスポーツ文化を豊かに享受することを通して、スポーツが主体的に望ましい社会の実現に貢献するという「スポーツ立国の実現」を目指していくことが重要です。

日本スポーツマスターズは、スポーツ愛好者の中で競技志向の高いシニア世代を対象としたスポーツの祭典であり、参加者がフェアプレー精神に基づきお互いに競い合いながらスポーツに親しむことにより、スポーツのより一層の推進を図り、併せて生きがいのある社会の形成と健全な心身の維持・向上に寄与しようとするものです。

大会創設の背景

21世紀の国民スポーツの推進を図るには、幼児から高齢者までが生涯を通じて自己の能力や志向に応じて豊かにスポーツを楽しむことができる環境づくりが必要です。しかし従来は、シニア世代で生涯スポーツに親しんでいる人が自己の技量を試す場はありませんでした。また、かつて競技スポーツで活躍をされた人にとってのセカンド・ステージもありませんでした。「日本スポーツマスターズ」はまさにこうしたエアポケットを埋める21世紀の新しいスポーツの場なのです。



実施概要

今回で24回目を迎えた本大会は、高円宮妃殿下のご臨席を賜り、長崎県8市2町25会場において開催され、長崎県競技団体およびボランティアの皆様の懸命な運営により、全競技成功裡に終了することができた。

競技会は、各競技とも昨年の大会を上回る熱戦が繰り広げられ、全国各地から参加した選手が交流を楽しむ場面も見られるなど、生涯スポーツのより一層の普及・振興を図るという、本大会開催の目的を十分に果たせたものとなった。

- 1. 主催** 公益財団法人日本スポーツ協会
長崎県
公益財団法人長崎県スポーツ協会

- 2. 後援** スポーツ庁
公益財団法人日本オリンピック委員会
NHK
一般社団法人共同通信社

- 3. 補助団体** 公益財団法人 JKA

- 4. 協賛**
・オフィシャルスポンサー 2社
東武トップツアーズ株式会社 ミズノ株式会社
・大会サプライヤー 1社
株式会社セレスポ
・大会サポーター 2社
株式会社ミカサ 生活協同組合ララコープ

- 5. 期 日**
令和6年9月27日(金) 開会式(前夜祭)
28日(土)～10月1日(火) 競技会
※水泳競技は9月7日(土)～8日(日)
ゴルフ競技は9月18日(水)～20日(金)
空手道協議は9月21日(土)～23日(月)

- 6. 開催地及び実施競技**
〔長崎市〕 水泳(男女)、テニス(男女)、バスケットボール(男)
〔佐世保市〕 バレーボール(女)、自転車競技(男女)、

- 軟式野球(男)、空手道(男女)、ボウリング(男女)
〔島原市〕 サッカー(男)、バレーボール(男)
〔諫早市〕 ソフトテニス(男女)、バドミントン(男女)、ゴルフ(男)
〔大村市〕 バスケットボール(男女)、軟式野球(男)、ゴルフ(女)
〔平戸市〕 軟式野球(男)
〔松浦市〕 軟式野球(男)
〔雲仙市〕 バレーボール(男)
〔長与町〕 ソフトボール(男)
〔時津町〕 ソフトボール(男)

8市2町25会場 13競技

7. 参加者数

7,041名(選手、監督等)

〈内訳〉

	競技名	男子	女子	計	前大会比
1	水泳	535	369	904	+239
2	サッカー	308	—	308	+9
3	テニス	172	140	312	-40
4	バレーボール	774	388	1,162	-54
5	バスケットボール	696	256	952	-101
6	自転車競技	100	10	110	-68
7	ソフトテニス	147	138	285	-31
8	軟式野球	613	—	613	±0
9	ソフトボール	781	—	781	-444
10	バドミントン	148	123	271	-58
11	空手道	470	171	641	+1
12	ボウリング	127	105	232	+28
13	ゴルフ	154	142	296	+14
14	韓国選手団	114	60	174	+4
計	13競技	5,139	1,902	7,041	-501

※韓国選手団本部役員7名(男子5名、女子2名)含む

※都道府県別参加人数は別表参照

大会日程と会場一覧

競技名		競技日程													会場	開催地
		9 月												10 月		
		7	8	18	19	20	21	22	23	27	28	29	30	1		
		(土)	(日)	水	木	金	(土)	(日)	(月)	金	(土)	(日)	月	火		
開会式（前夜祭）										△					ホテルニュー長崎	長崎市
水泳	(男女)	●	◎												長崎市民総合プール	長崎市
サッカー	(男)										○	○	○	◎	島原市宮平成町多目的広場	島原市
											○	○	○		島原市宮陸上競技場	
テニス	(男女)										●	○	○	◎	長崎市総合運動公園かきどまり庭球場	長崎市
バレーボール	(男)										○	○	○	◎	島原復興アリーナ	島原市
											○				島原市霊丘公園体育館	島原市
											○				雲仙市小浜体育館	雲仙市
	(女)										○	○	○	◎	佐世保市体育文化館	佐世保市
バスケットボール	(男)										○	○	◎		長崎県立総合体育館	長崎市
	(女)										○				大村市体育文化センター	大村市
自転車競技 [トラック]	(男女)										○	○			佐世保競輪場	佐世保市
ソフトテニス	(男女)										●	◎			長崎県立総合運動公園テニスコート	諫早市
軟式野球	(男)										●	○	◎		佐世保市総合グラウンド野球場	佐世保市
											○				佐世保市千鳥越野球場	
											○	○			大村市野球場	大村市
											○	○			平戸市総合運動公園ライフカントリー 赤坂野球場	平戸市
											○	○			松浦市野球場	松浦市
ソフトボール	(男)										○	○	○	◎	とぎつ海と緑の運動公園	時津町
											○	○	○		長与総合公園ふれあい広場	長与町
											○	○	○		長与総合公園運動公園広場	
バドミントン	(男女)										○	○	◎		諫早市中央体育館	諫早市
空手道	(男女)						●	○	◎						佐世保市体育文化館	佐世保市
ボウリング	(男女)										●	○	◎		パラダイスボウル	佐世保市
ゴルフ	(男)			▲	○	◎									長崎国際ゴルフ倶楽部	諫早市
	(女)			▲	○	◎									大村湾カントリー倶楽部	大村市

8 市 2 町 計 25 会場

△：開会式（前夜祭） ▲：公式練習 ●：開始式後競技 ○：競技 ◎：競技終了後表彰式

<開催地> 長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、雲仙市、
長与町、時津町

会場地一覧

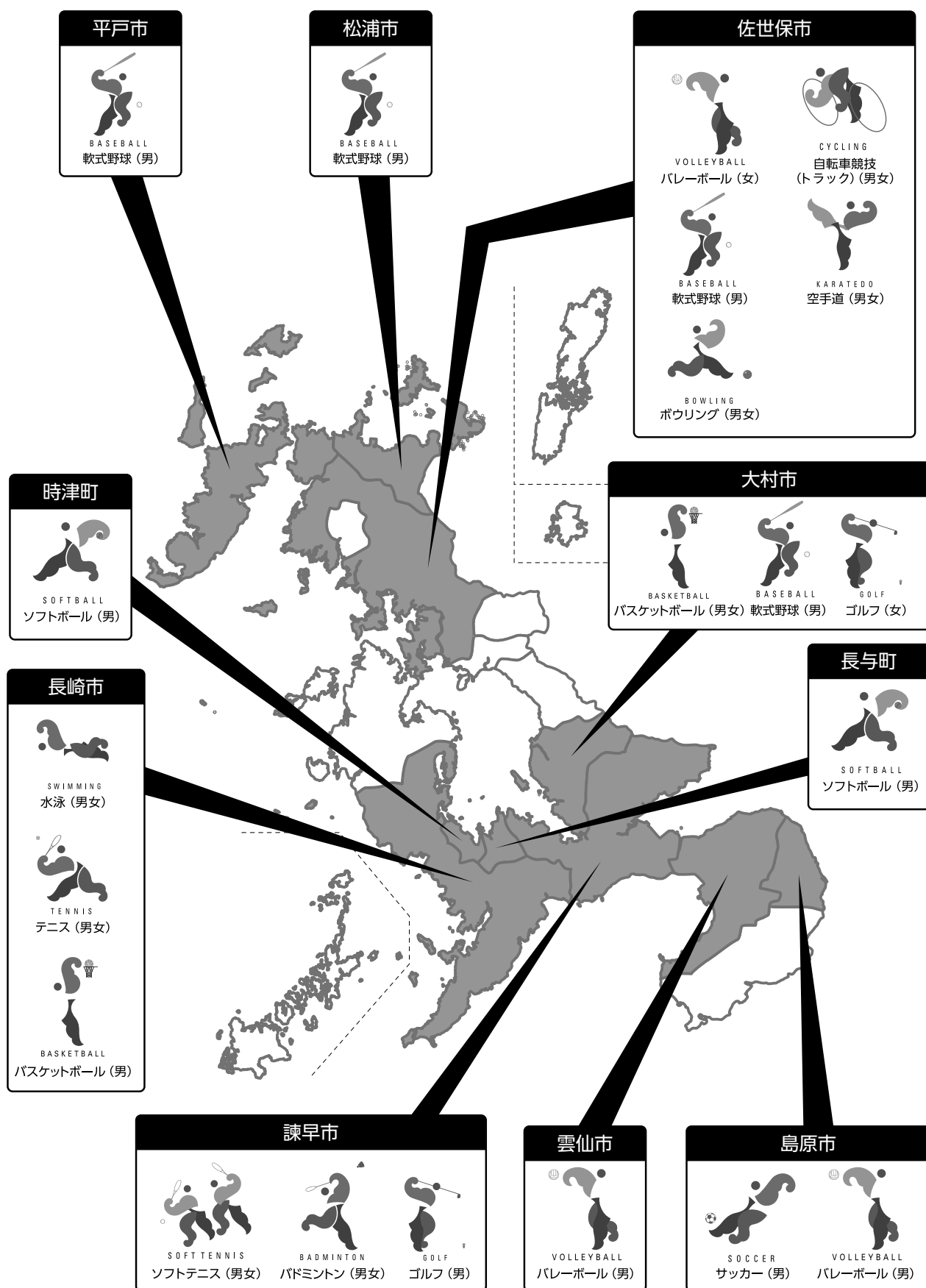
大会を振り返って

資料

実行委員会

競技要項

記録



大会参加者人数一覧

(2024年 9月 27日現在)																																	
		合計												平均																			
		1		2		3		4		5		6				7		8		9		10		11		12		13		合計			
水泳		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子				
1北海道	10	10	30	1	3	14	14	14	14	14	14	2	1	5	5	32	12	7	7	6	6	10	10	14	4	4	5	3	3	169	51	220	220
2青森県	3		24	3	3	17						2		5	5	16						2	1	2	1	4	4	3	3	8	58		
3岩手県	1					13											13					5		5		4	4	3	3	50	15	70	
4宮城県	4	3		3	3	16						11				15	14					7	1	7	1			3	3	53	4	57	
5秋田県	6	2		3	1	17										15						4	2	4	2			3	3	56	11	67	
6山形県			19	6	4		11															5	2	5	2			3	3	34	8	42	
7福島県	22	3		1	4	15	16	18				11		5	3		16	7				6	6	1	4	4	4	3	3	66	26	92	
8茨城県	9	栃木県	2	2			12							5	5		22	19				6	8	1				3	3	114	38	152	
10群馬県	14	25	24	6	3	27	30	40	33	3				6	3	21	19	7	8	17	8	4	4	13	11	4	4	3	3	54	32	86	
11埼玉県	26	28		3	3	15	14	19	26	3				6	5		20	15	6	6	16	10	4	4	13	11	4	4	3	3	191	117	308
12千葉県	33	20		6	3	32	33	46	43	5	1			6	6	20	18	6	8	16	10	4	4	13	11	4	4	3	3	119	97	216	
13東京都	57	40	23	5	4	9	16	38	24	5	1			6	6	19	8	8	7	16	10	5	4	4	13	11	4	4	3	3	198	130	328
14神奈川県	1			6	4	16										17	19	19	8	15	8	4	4	10	1	4	4	3	3	186	108	294	
15山梨県	3			6	4	19								5	5		23					10	1					3	3	66	4	70	
16新潟県	1	1	20	3	4	18				2				6	5		14					6	4					3	3	98	16	114	
17長野県	2	3	20	7	6					1				5	5			14	6	6	4		6	6				3	3	73	13	86	
18富山県	8	2		6	4									5	5	22	18	7	6	6	4	4	3					3	3	62	26	88	
19石川県	4			3	1	15				1				4	4	20	17	6				7	3					3	3	126	39	165	
20福井県	13	4	16	3	3	29	32	8	16	2				6	5		10	6				15	7	4	4	4	4	3	3	93	15	108	
21静岡県	25	9		2	2	17	15	41		5				6	5	24	15		6			16	9	4	4	4	4	3	3	109	65	174	
22愛知県	8	7		10	8	17	13	31	23	1						22	16	6				8	10	17	10	5	4	4	3	3	160	47	207
23三重県	15	1		2		14	13	18		2							29	8				17	10					4	3	116	27	143	
24岐阜県	3	4		3	6	12	18	17									19					14	1	5	4	4	4	3	3	76	36	112	
25滋賀県	16	11	26			31	26	28	11	2				5	5	21	29					16	6					3	3	177	66	243	
26京都府	7	2		6	4	28		19	17	4				6	6	22	23	6	6	17	10	4	3					3	3	140	42	182	
27大阪府	49	37		5	4	29	17	66		2				5	5	18	16	6	6	15	8	4	4	3	3	4	4	3	3	218	84	302	
28兵庫県	5	5		3	3	14				2				5	5		20					6	5	2	4	4	4	3	3	83	24	107	
29奈良県	7	1		4		9										14						2	2	4	4	4	4	3	3	67	8	75	
30和歌山県				3	3																	9	2					3	3	33	15	48	
31鳥取県	1	3		3	3	15				2						5	16					6						3	3	51	14	65	
32島根県	21	12	23	6	7	26	26	13		4				5	5	22		6	6	14	3	5	4	3				3	3	148	66	214	
33岡山県	30	23		3	3	38	16							6	5	22	16					14	5	4	4	4	4	3	3	140	70	210	
34広島県	8	3		3	3	18	16			5	1			5	5	23	13					7	1	3				4	3	90	30	120	
35山口県	2	1		3	3	15								5	5	19	18					4	3					3	3	69	15	84	
36香川県	8			3	3	12										12		2				7	5	4	4	4	4	3	3	61	25	86	
37徳島県	18	5	18	5	3	13				3				6	5		19					15	1					3	3	109	28	137	
38愛媛県	8	12	20	5	3	13				2						18	15	8				4						3	3	70	13	83	
39高知県	3	4		3	2	16																						3	3	162	51	213	
40福岡県	12	5	21	4	3	33	13	15		12	1			5	5	25	7	7	14	2	8	2	4	2	4	2	4	3	3	84	33	117	
41佐賀県	4	3		2	13	12								6	5	21	19	6	6	8	2	4	3					3	3	364	128	492	
42長崎県	53	53	24	10	9	51	13	25	14	3	1			10	11	59	87	14	12	14	3	8	8	6	4	4	4	3	3	90	33	123	
43熊本県	22	19		3	3	17				2				5	5							10	3	4	4	4	4	3	3	127	28	155	
44大分県	21	7		3	3	14				13	1					20	15	8	7	9	3	3	3					3	3	74	17	91	
45宮崎県	1			6	7	9								22	17	6	10	1				14	4	8	5	3	3	3	3	114	15	129	
46鹿児島県	1	1		3	2	29				2						22	17					3						3	3	62	34	96	
47沖縄県	3	3		3	3	12	25			1						21	16					3						3	3	62	34	96	
小計	535	369	308	172	140	774	388	696	256	100	10	147	138	613	781	148	123	470	171	127	105	154	142	5,025	1,842	6,867	-	-	-	-	-	-	
韓国			19	10	8		18	18		14	4	11	11	18			9	9			10	8								109	58	174	
韓国本部役員																															5	2	
合計	904	327	330			1,180		970		128		307	631	781		289	641			250		296		7,041									
																←総合計																	

開会式（前夜祭）実施概要

1. 主催 公益財団法人日本スポーツ協会 長崎県
公益財団法人長崎県スポーツ協会
2. 後援 スポーツ庁 公益財団法人日本オリンピック委員会 NHK 一般社団法人共同通信社
3. 補助団体 公益財団法人 JKA
4. 協賛 ◇オフィシャルスポンサー
東武トップツアーズ株式会社 ミズノ株式会社
◇大会サプライヤー
株式会社セレスポ
◇大会サポーター
株式会社ミカサ 生活協同組合ララコープ
5. 日時 令和 6 年 9 月 27 日(金)17:00~19:00
6. 会場 ホテルニュー長崎 3 階 鳳凰閣
〒850-0057 長崎県長崎市大黒町14番 5 号
7. 演出・運営 株式会社マルクスインターナショナル
8. 参加者数 404名

	区 分	人数
1	日本スポーツ協会関係者	16名
2	スポーツ庁	2 名
3	長崎県関係者	63名
4	競技団体	13名
5	協賛社	15名
6	視察等（後催県等）	8 名
7	選手・監督	86名
8	韓国選手団	174名
9	その他日韓交流関係者	27名
	※招待者のみ	117名
	合 計	404名

9. 内容等 長崎検番の芸妓衆による三味線と踊り、ブレイクダンスショー、和太鼓で会場を盛り上げ、龍踊りでは韓国選手団に体験いただき参加者の交流・親睦を深めた。また、地元の菓子や地酒、特産品などで参加者をもてなした。また、大会名誉総裁である高円宮妃殿下のご臨席を賜り、出場選手に向けて心温まるエールをお送りいただいた。

開催までの経過

令和3年7月19日	令和3年度第2回日本スポーツマスターズ委員会において、令和6年（2024年）及び令和7年（2025年）の開催地の決定について、坂元委員長に一任することを承認。	及び会場を承認。
令和4年10月11日	長崎県及び長崎県スポーツ協会がJSPOに日本スポーツマスターズ2024の開催申請書を提出。	令和5年7月20日 JSPO 令和5年度第3回理事会において、競技日程及び会場を報告。
令和4年11月10日	JSPO 令和4年度第4回理事会にて「日本スポーツマスターズ2024」の開催地を長崎県とすることを承認。JSPO 伊藤会長から長崎県大石知事に開催決定書を交付。	令和5年8月1日 日本スポーツマスターズ2024長崎大会第1回企画運営委員会が開催され、JSPO から、会場市町・県競技団体への依頼事項、物販・おもてなし及びスポーツボランティアに関する取組等について説明。
令和4年11月10日	JSPO ホームページ、Facebook 及び Twitter（現 X）に、日本スポーツマスターズ2024の開催地が長崎県に決定したことを掲載。	令和5年8月18日 令和5年度第2回実施中央競技団体連絡会議において、競技日程及び会場について報告。
令和5年2月21日	令和4年度第2回日本スポーツマスターズ委員会において、開会式は令和6年（2024年）年9月27日(金)、各競技会は9月28日(土)から10月1日(火)までの4日間とする会期を承認。 なお、水泳競技は国民スポーツ大会等との重複を避けるため、9月7日(土)、8日(日)の2日間、ゴルフ競技はゴルフ場の営業等を考慮し平日開催としているため、9月18日(水)から20日(金)の3日間。	令和5年10月23日～25日 坂元日本スポーツマスターズ委員会委員長が長崎県大石知事を始め会場地市町の市町長・教育長等を表敬訪問し大会への協力を要請。また、開会式会場ホテル、ゴルフ・ボウリング競技会場を訪問し、同じく協力を要請。
令和5年3月9日	JSPO 令和4年度第6回理事会において、会期について報告。	令和5年11月13日～15日 JSPO、長崎大会実行委員会、会場準備設営を担当する(株)セレスポ、県競技団体、会場地市町の各担当者による競技会場の視察と調査を2班体制で実施。
令和5年6月7日	令和5年度第1回日本スポーツマスターズ委員会において、競技日程・会場の調整状況を共有するとともに、その決定については坂元委員長に一任することを承認。 なお、空手道競技は9月21日(土)から23日（月・祝）の3日間。	令和5年11月21日 令和5年度第3回実施中央競技団体連絡会議において、開催概要、競技別実施要項、各種作成物等について協議。
令和5年6月12日	日本スポーツマスターズ2024長崎大会実行委員会設立総会及び第1回総会が開催され、同総会において令和5年度事業計画及び収支予算と大会日程	令和6年2月21日 令和5年度第2回日本スポーツマスターズ委員会において、役員編成を承認。また、開催概要や企業協賛について報告。
		令和6年3月25日 日本スポーツマスターズ2024長崎大会第2回企画運営委員会が開催され、JSPO から、競技運営委託業務における航空券・宿泊手配、医療衛生要領等、物販・おもてなし、観光チラシ協賛、広告協賛及びスポーツボランティアに関する取組について説明。
		令和6年3月25日 日本スポーツマスターズ2024長崎大会実行委員会第2回総会が開催され、大会日程・会場一覧の一部変更と記念

	事業について報告されるとともに令和6年度事業計画及び収支予算（案）を承認。
令和6年4月18日 令和6年度第1回実施中央競技団体連絡会議において、JSPO から、以下について説明。 ① 大会役員・競技会役員の編成・委嘱について ② 開会式（前夜祭）について ③ 宿泊・輸送について ④ 参加申込・参加資格について ⑤ 競技用品の支給について ⑥ 各種印刷物の作成について ⑦ 参加章・入賞記念品・賞状の作成数量について ⑧ 各種物品送付先について ⑨ 競技会場設営について ⑩ 競技運営委託業務について ⑪ 広告協賛について ⑫ 保険について ⑬ スポーツボランティアに関する取組について ⑭ 日韓交流について ⑮ 標章の使用について	令和6年7月18日 令和6年4月16日付文書にて JSPO から依頼した憲仁親王妃久子殿下の「日本スポーツマスターズ2024」大会名誉総裁御就任について、宮内庁からの承諾通知を受理。 (御就任期間：令和6年9月7日(土)～10月1日(火)) 令和6年7月31日 日本スポーツマスターズ2024長崎大会実行委員会第3回企画運営委員会が開催され、JSPO から、競技結果の報告・記録配信、緊急時等連絡体制図、参加者アンケート、熱中症対策について説明。 また、JSPO から、大会協賛社をご紹介。 令和6年8月1日 JSPO ホームページに、大会記念品の販売開始について掲載。 令和6年8月27日 令和6年度第2回実施中央競技団体連絡会議において、JSPO から、以下について説明。 ① 開催概要 ② 大会日程と会場一覧 ③ 開会式 ④ 医療救護 ⑤ 緊急時連絡体制 ⑥ 大会中の落雷事故の防止対策 ⑦ 暑熱対策に関する対応方針 ⑧ 報道対応 ⑨ 参加者アンケート ⑩ 競技視察 ⑪ 協賛関係・「フェアプレー宣言」募集 ⑫ 日韓スポーツ交流
令和6年5月20日 JSPO から県競技団体に対して競技運営業務委託金及び競技会運営補助交付金に関する説明会を実施。	
令和6年5月20日～22日 JSPO、長崎大会実行委員会、会場準備設営を担当する(株)セレスポ、県競技団体、会場地市町の各担当者による競技会場設営に係る個別打合せを実施。	
令和6年5月30日 JSPO ホームページに、競技別実施要項、参加申込書類を掲載。	
令和6年6月3日 令和6年度第1回日本スポーツマスターズ委員会において、開催準備状況や日韓スポーツ交流・成人交歓交流、企業協賛、スポーツボランティアに関する取組、公益財団法人JKA 補助金について報告。 令和6年6月21日 一般社団法人共同通信社、JSPO、長	令和6年9月3日 大会の開催概要をプレスリリースにて公表。 令和6年9月4日 JSPO ホームページに、水泳競技会の開催について掲載。 令和6年9月6日、10日、11日 長崎大会実行委員会、競技団体、開会式運営業務受託業者、JSPO の各担当

者が出席し、憲仁親王妃久子殿下の 成りに関する総合リハーサル（動線等 の最終確認）を実施。	令和6年11月13日 JSPO 令和6年度第4回理事会におい て、長崎大会の開催について報告。
令和6年9月7日～8日 水泳競技会を開催。	令和6年11月20日 令和6年度第3回実施中央競技団体連 絡会議において、JSPO から、以下に ついて報告。
令和6年9月18日～20日 ゴルフ競技会を開催。	① 大会実施概要 ② 医療救護実績
令和6年9月21日～23日 空手道競技会を開催。	③ 保険対応 ④ 大会報告書の作成
令和6年9月27日 開会式（前夜祭）を開催。	⑤ 参加者アンケート
令和6年9月27日～28日 憲仁親王妃久子殿下が開会式（前夜 祭）に御臨席されたほか、テニス競技、 バドミントン競技、バスケットボール 競技を御観覧。	⑥ 協賛関係 ⑦ 日韓スポーツ交流 ⑧ スポーツボランティア活動報告
令和6年9月28日～10月1日 主会期10競技を開催。	令和7年2月19日 令和6年度第2回日本スポーツマス ターズ委員会において、大会の開催に ついて報告。

収支計算書

(令和7年2月末日現在見込)

(収入)

(単位：千円)

科 目	予算額	決算見込額	差異	内 容
1. JKA 等補助金収入	54,588	53,688	900	JKA 補助金、ミズノスポーツ振興財団助成金
2. 参加料等収入	72,866	62,268	10,598	大会参加料 54,536 商業施設負担金 7,220 開会式参加料 512
3. 協賛金等収入	40,600	38,834	1,766	企業協賛金 38,680 広告料収入 154
4. 雑収入	0	0	0	雑収入
5. 繰入金収入	17,004	27,607	△ 10,603	日本スポーツ協会負担金
合 計	185,058	182,397	2,661	

(支出)

科 目	予算額	決算見込額	差異	内 容
1. 諸謝金	19,245	16,901	2,344	医師・看護師・AT 謝金等
2. 旅費	31,171	25,775	5,396	事前会議等出席旅費、大会派遣旅費等
3. 借損料	31,861	33,422	△ 1,561	競技会場借上料、会議室借上料、備品借上料、 会場設営物品借上料等
4. 消耗品費	10,868	11,999	△ 1,131	競技用品、参加章、入賞記念品、医薬品等
5. 印刷製本費	12,807	9,285	3,522	
6. 通信運搬費	1,067	1,536	△ 469	資料運搬代、事務連絡通信費等
7. 会議費	3,939	4,360	△ 421	準備会議、実施競技団体連絡会議、 マスターズ委員会等
8. 業務委託費	58,900	68,351	△ 9,451	会場設営費、開会式運営委託費、 旅行業務委託費、企業看板・ブース設置費等
9. 競技等運営費	3,150	3,013	137	大会本部・競技運営費等
10. 保険料	9,950	6,216	3,734	参加者・役員等保険料
11. 事業費交付金	2,000	1,500	500	開催準備金
12. 雑費	100	39	61	支払手数料等
合 計	185,058	182,397	2,661	

広報概要

1. プレスリリース

令和4年 11月10日 2024開催地に長崎県が決定
令和6年 9月3日 2024長崎大会の開催

2. 印刷物による広報

(1) 大会実施要項

- ・都道府県スポーツ協会、実施中央競技団体（都道府県競技団体含む）、開催地市町、後催県、補助団体、協賛企業、後援団体、その他関係団体等に配布
- ・概要説明、大会PR、参加者募集等に活用
令和6年6月14日 A4 データ発行

(2) 公式ポスター

- ・2017兵庫大会から大会イメージの確立・浸透を図る観点にて、複数年継続して使用できるよう大会シンボルマークを最大限活用したデザインを作成した
- ・都道府県スポーツ協会、実施中央競技団体（都道府県競技団体含む）、開催地市町、後催県、補助団体、協賛企業、後援団体、その他関係団体等に配布
- ・大会PR、参加者募集等に活用
令和6年5月20日 B1 4色カラー 990部発行
デザイン：株式会社セレスポ

(3) 競技別プログラム

- ・都道府県スポーツ協会、実施中央競技団体、開催地競技団体、開催地市町、後催県、補助団体、助成団体、協賛企業、後援団体、報道機関、参加選手・監督、競技役員、その他関係団体等に配布
- ・各競技の説明、参加選手、日程、組合せ等掲載
令和6年8月29日 A4 アジロ綴 965部発行（水泳競技）
200部発行（水泳競技増刷）
令和6年9月5日 A4 アジロ綴 540部発行（ゴルフ競技）
1,195部発行（空手道競技）
令和6年9月13日 A4 アジロ綴 962部発行（サッカー競技）
650部発行（テニス競技）
1,514部発行（バレーボール競技）
1,455部発行（バスケットボール競技）
450部発行（自転車競技）
668部発行（ソフトテニス競技）
1,197部発行（軟式野球競技）
1,382部発行（ソフトボール競技）
690部発行（バドミントン競技）
480部発行（ボウリング競技）

3. 日本スポーツ協会ウェブサイトによる広報

令和4年 11月10日 長崎県が2024開催地に決定
令和5年 4月4日 2024長崎大会の会期と実施競技を公開
10月26日 開催市町への表敬訪問を報告
令和6年 5月30日 2024長崎大会の実施要項・参加申込書を公開
8月1日 大会記念品の販売開始
9月4日 2024長崎大会会期前競技（水泳）の開催
9月5日 暑熱対策のお願い
9月17日 2024長崎大会会期前競技（ゴルフ・空手道）の開催
9月25日 2024長崎大会主会期の開催
11月15日 参加者アンケートへのご協力をお願い

宿泊・輸送・弁当

本大会参加者の宿泊、輸送及び昼食の弁当等旅行業務に関しては、効率的かつ円滑な業務運営を図るため、業務全てを本大会オフィシャルスポンサーである東武トップツアーズ㈱に委託するとともに、東武トップツアーズ㈱全国支援室に本大会宿泊センターを設置し、日本スポーツ協会及び長崎県と連携しながら業務の遂行にあたった。

1 宿泊

(1) 基本方針

監督、選手等が心身ともに快適な状態で競技に臨むことができるよう、宿泊施設の確保や受入対策については、風紀、衛生、防災、防犯等万全の体制を整備する。

(2) 実施対策

宿泊施設の選定にあたっては、原則的に会場地市町あるいは近隣市町とし、風紀、衛生、防災、防犯、緊急連絡上の支障がない施設とした。

(3) 配宿

① 宿舎の確保

宿舎については、本大会宿泊センターが、各競技の本部宿舎を中心とし、競技会場市・近隣市町内の宿舎を確保した。

② 宿舎の案内

宿泊センターが作成した「宿泊・弁当・交通のお申し込みご案内」パンフレットのデータを、競技参加申込書と併せて中央競技団体経由で都道府県競技団体にメールで配布して参加者に案内をした。

③ 宿泊申込

パンフレット（データ）には、会期別、市町別に宿舎が掲載され、料金や部屋タイプ、食事条件、交通案内、駐車場の有無の表示があり、参加者がタイプ、ランクを選んで東武トップツアーズ㈱のインターネット登録システムにて水泳は7月19日、ゴルフ、空手道は7月31日、主会期競技は8月5日までに直接申し込む形態をとった。

④ 配宿（宿泊予約）

インターネット登録システムにて宿泊予約は申し込み順とし、満室になり次第締め切りとした。入金確認後、登録システムから宿泊確認書を出しフロントへ提出することとした。

・宿泊者数一覧（宿泊輸送本部取扱分）

	長崎市・時津町			諫早市			大村市			島原市・雲仙市・ 南島原市			佐世保市			合計		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
9/5	1	0	1													1	0	1
9/6	26	13	39													26	13	39
9/7	29	12	41													29	12	41
9/17				98	13	111	22	74	96							120	87	207
9/18				100	14	114	25	77	102							125	91	216
9/19				102	13	115	25	75	100				2	0	2	129	88	217
9/20				28	9	37	4	21	25				66	23	89	98	53	151
9/21													83	29	112	83	29	112
9/22													82	29	111	82	29	111
9/26	31	5	36	1	0	1	0	0	0	2	0	2	14	1	15	48	6	54
9/27	246	50	296	149	38	187	69	12	81	64	7	71	129	19	148	657	126	783
9/28	269	50	319	158	38	196	86	24	110	107	11	118	149	24	173	769	147	916
9/29	117	14	131	115	12	127	14	21	35	93	7	100	70	14	84	409	68	477
9/30	41	2	43	48	0	48	1	0	1	54	8	62	13	6	19	157	16	173
10/1	10	1	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1	11
計	770	147	917	799	137	936	246	304	550	320	33	353	608	145	753	2,743	766	3,509

・競技別宿泊者数一覧（宿泊輸送本部取扱分）

競技別	水泳	サッカー	テニス	バレーボール	バスケットボール	自転車競技	ソフトテニス	軟式野球	ソフトボール	バドミントン	空手道	ボウリング	ゴルフ	視察・役員等	合計
9/5	0													1	1
9/6	2													37	39
9/7	5													36	41
9/17													183	24	207
9/18													185	31	216
9/19													185	32	217
9/20											34		62	55	151
9/21											58			54	112
9/22											59			52	111
9/26														54	54
9/27		84	27	109	79	2	49	85	139	25		13		171	783
9/28		64	26	94	104	0	53	116	163	31		13		252	916
9/29		56	16	87	39	0	0	24	46	17		13		179	477
9/30		14	2	39	0	0	0	0	15	0		0		103	173
10/1		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		11	11
計	7	218	71	329	222	2	102	225	363	73	151	39	615	1,092	3,509

2 輸送

(1) 基本方針

本大会の実施にあたり、選手・監督、役員、関係者の輸送については、関係機関の協力を得ながら、交通状況、輸送手段を十分に勘案し、安全で円滑な輸送を図る。

(2) 交通案内及び申込

JR、航空機、高速バス、貸切バス等の交通機関の予約手配は、パンフレット（データ）により案内を行い、東武トップツアーズ(株)各支店にて対応した。

3 弁当

(1) 基本方針

大会参加者が十分に活躍できるよう衛生的で栄養的にも調和がとれた献立を決定するとともに、食中毒等を防止するため、衛生対策に万全を期する。

(2) 実施対策

前記の宿泊と同様に、パンフレット（データ）により案内を行い、宿泊と併せて申し込みを受け付け、登録システムから各自弁当引換券を出力（印刷）して、全競技会場に設けられたツアーデスクにて弁当を引き換えるようにした。

宿泊輸送本部では参加者からの申し込みを集約し、全競技会場（ゴルフは除く）に弁当の配送手配を行った。

弁当は1食950円（お茶付）とし、内容は毎日異なるものとした。

空容器は業者により回収作業を行い、取消は前々日12時まで無料（12時以降は全額負担）とした。

競技会役員・競技役員・運営係員分については、各競技団体に事前に宿泊輸送本部から必要数の調査を行い、日本スポーツ協会にて手配した。

・弁当数一覧（宿泊輸送本部取扱分）

	9/7(土)			9/8(日)			9/21(土)			9/22(日)			9/23(月)			9/28(土)			9/29(日)		
	選手	役員	医療 スタッフ	選手	役員	医療 スタッフ	選手	役員	医療 スタッフ	選手	役員	医療 スタッフ	選手	役員	医療 スタッフ	選手	役員	医療 スタッフ	選手	役員	医療 スタッフ
水泳	39	190	3	34	190	3															
サッカー																0	235	6	0	240	6
テニス																5	80	3	2	75	3
バレーボール																31	175	4	0	125	2
バスケットボール																0	326	2	0	204	3
自転車競技																1	70	3	1	70	3
ソフトテニス																21	120	2	21	120	2
軟式野球																61	295	5	12	245	4
ソフトボール																13	163	3	0	174	3
バドミントン																39	142	2	39	135	2
空手道							107	168	3	114	176	3	102	166	3						
ボウリング																59	34	2	59	32	2
合計	39	190	3	34	190	3	107	168	3	114	176	3	102	166	3	230	1,640	32	134	1,420	30
各日合計	232			227			278			293			271			1,902			1,584		

	9/30(月)			10/1(火)			合計		
	選手	役員	医療 スタッフ	選手	役員	医療 スタッフ	選手	役員	医療 スタッフ
水泳							73	380	6
サッカー	0	240	6	0	145	3	0	860	21
テニス	0	50	3	0	50	3	7	255	12
バレーボール	0	90	2	0	75	2	31	465	10
バスケットボール	0	70	3				0	600	8
自転車競技							2	140	6
ソフトテニス							42	240	4
軟式野球	0	70	1				73	610	10
ソフトボール	0	154	3	0	89	1	13	580	10
バドミントン	23	104	2				101	381	6
空手道							323	510	9
ボウリング	9	23	2				127	89	6
合計	32	801	22	0	359	9	792	5,110	108
各日合計	855			368			6,010		

大会を振り返って

資料

実行委員会

競技要項

記録

会場設営

本大会の会場設計、備品調査、装飾等の設営準備業務に関しては、効率的かつ円滑な業務運営を図るため、(株)セレスポに委託し、日本スポーツ協会及び長崎大会実行委員会、競技会場、実施競技団体と連携しながら業務の遂行にあたった。また、競技運営に関わる会場設営準備は主管競技団体にて行った。

1. 経過

1)	R 5 年 11月13日～15日	第1回現地調査（2班にて施設下見及び図面収集）
2)	11月21日	令和5年度第3回実施中央競技団体連絡会議
3)	R 6 年 1月～2月	基本設計図作成業務
4)	2月21日	令和5年度第2回日本スポーツマスターズ委員会
5)	3月19日～25日	第2回現地調査（備品調査及びサイン配置計画検討）県競技団体との打合せ
6)	4月18日	令和6年度第1回実施中央競技団体連絡会議（基本設計図書提出）
7)	5月20日～24日	長崎県競技団体との個別折衝
8)	6月3日	令和6年度第1回日本スポーツマスターズ委員会
9)	6月8日～11日	第3回現地調査（設営業者と施工打合せ）県競技団体との打合せ
10)	7月18日～24日	第4回現地調査（設営業者と施工打合せ）県競技団体との打合せ
11)	8月27日	令和6年度第2回実施中央競技団体連絡会議
12)	9月1日～3日	第5回現地調査（設営業者と施工打合せ）
	〈開催当日〉	
13)	9月4日～9日	水泳競技会場設営開始・水泳競技会開催及び撤去
14)	9月5日～	スポンサー看板等事前検収開始、開催中のスポンサー看板及びブース確認
15)	9月10日～14日	第6回現地調査（設営業者と施工打合せ）
16)	9月15日～20日	ゴルフ競技会場設営開始・ゴルフ競技会開催及び撤去
17)	9月19日～23日	空手道競技会設営開始・空手道競技会開催及び撤去
18)	9月24日～27日	各競技会場設営
19)	9月25日～	スポンサー看板等事前検収開始、開催中のスポンサー看板及びブース確認
20)	9月27日	開会式（前夜祭）
21)	9月28日～	日本スポーツマスターズ2024長崎大会開催
22)	10月3日	全競技会場撤去終了
23)	11月20日	令和6年度第3回実施中央競技団体連絡会議

2. 会場設計・備品に関する基本的考え方

- ①会場設営及び装飾に関しては、華美になることを避け、競技会運営に支障をきたすことなく、全国大会として参加者が満足できるものとする。
- ②競技運営関連施設は過去の大会に習い、既存の施設を有効活用することとし、新規仮設物を極力控える。
- ③備品に関しては極力施設または、競技団体所有のものを活用し、不足分のみレンタルで対応する。
- ④競技運営備品は、施設備品と競技団体備品を可能な限り借用する。
- ⑤競技運営備品で不足するものはレンタルで対応する。

⑥弁当引換所、スポンサーブース、開催地接待所等については、極力開催地がテント、イス等の備品の提供と設置撤去を担当する。

⑦日本スポーツ協会が保管している備品を必要に応じて使用する。

3. 設営内容

①日本スポーツ協会が行う会場設営（業者に業務委託）

- ・会場設計とデザイン
- ・会場備品及び競技用品等の調査
- ・会場装飾（大会看板、スポンサー看板、大会旗・のぼり旗の設置）
- ・共通備品の設置（会場以外のレンタル品の机、椅子、テント、コピー機等）

②競技団体が行う会場設営

- ・上記①以外の競技会場設営（具体的には、グラウンド整備や線引き、フェンスの設置や体育館のラインテープ貼り、会場の机や椅子、競技用品の設置などは全て競技団体が行う）。

4. 評価、反省事項

項 目	評価・反省事項
情報の伝達	企画運営委員会や個別折衝等によって、各関係機関との調整・意見交換・情報伝達がスムーズに行われた。また、競技毎の打合せも必要に応じて実施し、大会運営も支障なく満足のいくものとなった。 競技結果の集計及び記録本部への連絡については、各競技団体関係者が所有する端末（ノートパソコン・スマートフォン、タブレット等）を活用し、よりタイムリーな情報をやり取りすることができた。
会場地市町、会場施設との利用条件等の調整	長崎大会実行委員会は会場地市町及び会場施設と協力的に調整していた反面、会場によっては設営・撤去期間を短縮したことにより、協力会社との調整を余儀なくされたものの、結果的に大きな混乱は妨げられた。
ゴミ処理	施設利用は、原則として利用者がゴミを持ち帰る方針を取っていたが、会場によって実施競技団体の善意により処理を行ったこともあり、問題等は発生しなかった。 また、弁当のゴミは東武トップツアーズ(株)の協力調整により地元弁当業者が持ち帰る措置をとった。
開催地、競技団体、設営業者の役割分担	長崎大会実行委員会、開催市町、実施競技団体は、2014年に開催された「長崎国体」を始めとした全国規模の大会運営の経験を活かし、支障なく終了する事ができた。 また、事前打ち合わせの段階から役割分担を取り決めたことにより、準備をスムーズに行う事ができ、開催に向け協力体制を取り、柔軟に対応する事ができた。
歓迎・誘導サイン	長崎大会実行委員会及び開催地市町の協力で歓迎看板やのぼり旗等の装飾が設置されたことに加え、会期前、会期中に合わせてPR 動画の積極的な発信やイベントも開催され、大会ムードがより盛り上がった。

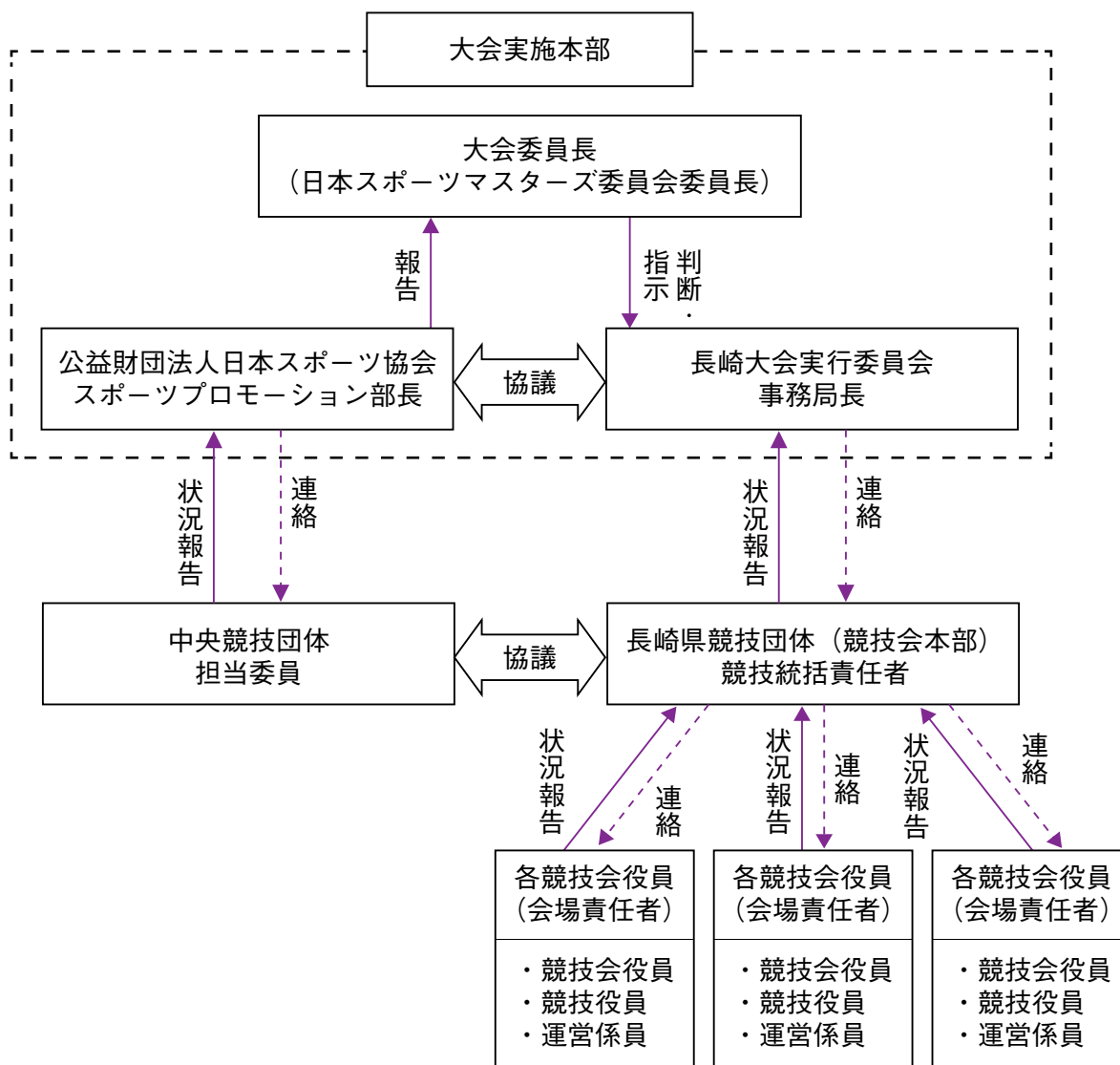
緊急時等連絡体制

1 基本方針

- ①各競技会場に配置した「会場責任者」「記録責任者」「救護責任者」の携帯電話番号を関係者が事前に確認し、各競技会場と大会実施本部（大会実行委員会※以下同じ）の間での連絡調整が円滑になるよう努める。
- ②事件・事故、全競技に係る事項をはじめとした重要な内容については、大会実施本部と日本スポーツ協会で協議を行う。
- ③主管競技団体と中央競技団体は必要に応じて協議を行い、競技会運営を円滑に進めるよう努める。

2 具体的対応

- ①荒天等による競技実施の可否判断や事故等による緊急時には下記体制図に基づく連絡体制とする。
※当日朝の判断結果については、5時45分～6時00分までの間に大会実施本部（大会実行委員会）へ連絡する。
- ②各競技とも、当日の全日程が終了後、大会実施本部に終了報告（医療救護報告を含む）を行う。
- ③急激な天候の変化あるいは大地震等による突発的な災害時は、参加者、競技役員の安全を最大限に優先し、まず競技会開催地自治体の防災マニュアル等に従って安全を確保すること。そのために、競技会場に開催地自治体の職員が常駐するか、自治体職員と競技役員が、確実に連絡が取れる手段を確保すること。なお、事態が沈静化した段階で、主管競技団体責任者および大会実施本部に状況を報告すること。



1. 目的

この要領は、日本スポーツマスターズ（以下「大会」という。）に参加する選手・監督、大会役員、競技会役員、競技役員、運営係員、報道員及び応援・支援の関係者等に対して、医事衛生の万全を期すため、医療救護、食品衛生及び環境衛生について必要な事項を定める。

2. 方針

公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）と大会実行委員会（以下「実行委員会」という。）は、相互に連絡調整を図るとともに、関係機関・団体等の協力を得て、医療救護、食品衛生及び環境衛生の対策を実施し、大会の円滑な運営を図る。

3. 医療救護

日本スポーツ協会と実行委員会は、相互に連絡調整を図るとともに、関係自治体及び医療関係団体・機関等の協力を得て、大会開催中の医療救護に関する業務を実施する。

(1) 救護所

ア 各競技会場に救護所を設置し、医師、看護師、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー及び競技団体救護担当等で構成する医療救護班を配置する。なお、医療救護班の構成については、別紙「日本スポーツマスターズ医療救護班の構成に関する留意事項」に則るものとする。

イ 大会に派遣する医師、看護師、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーへの依頼及び手配は、実行委員会が行う。

ウ 救護所では、傷病者に対して臨時の応急手当（救急処置）を行うものとし、必要に応じて各競技会場の指定医療機関への搬送手続きを行う。

(2) 医薬品等の配備並びに救急自動車等の要請

救護所には、最低限必要な医薬品、診察器具、AED（自動体外式除細動器）等を配備する。なお、救急自動車等の出動については、医師、看護師、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー及び競技団体救護担当等の指示により要請する。

(3) 指定医療機関の設定

実行委員会は地元医師会等と十分に連携を取り、傷病者を速やかに搬送できる指定医療機関を各競技会場に設定する。

(4) 医療費の負担

医療費は、救護所及び救急自動車等において要した経費を除き、全て傷病者が負担する。

(5) 宿泊施設における医療救護

「休日・夜間急患医療機関一覧」をプログラムに掲載するとともに、傷病者に遺漏のないよう宿泊施設に対して協力を依頼する。

(6) 経費の負担

日本スポーツ協会は、救護所の設置等医療救護の実施に要する経費を負担する。

(7) 赤十字標章の使用許可申請

救護所において赤十字標章を使用する場合、その使用許可申請は、実行委員会が行う。

4. 食品衛生

実行委員会、関係自治体及び宿泊申込取りまとめ会社は、相互に連絡調整を図るとともに、関係機関の協力を得て、食品衛生に関する業務を実施する。

(1) 内容

ア 食品関係営業施設、宿泊施設等の監視指導

飲食に起因する衛生上の危害の発生を防止するため、食品関係営業施設、宿泊施設等に対して監視指導を行うなど、設備の整備及び食品取扱の衛生的向上を図る。

イ 会場等の食品取扱施設に対する衛生指導

開会式会場及び競技会場（以下「大会会場」という。）における食品取扱施設に対して、衛生指導を行う。

ウ 土産食品の衛生対策

適正表示の徹底及び不良食品の排除のため、必要に応じて検査を行う等土産食品の衛生対策に努める。

(2) 従事者の衛生指導

対象施設従事者に対して、個別衛生指導を行う等食品衛生意識の向上に努める。

5. 環境衛生

実行委員会、関係自治体及び宿泊申込取りまとめ会社は、相互に連絡調整を図るとともに、関係機関の協力を得て、大会会場等の環境衛生に関する業務を実施する。

(1) 内容

ア 大会会場の環境衛生対策

大会会場内外の清掃及び設備の点検・整備を徹底するとともに、し尿及び廃棄物等を適切に処理し、安全で清潔な会場保持に努める。

イ 飲料水の衛生

水道事業者等の協力を得て、施設の維持管理を把握し、飲料水の衛生保持に努める。

ウ 宿泊施設の環境衛生対策

宿泊施設管理者の協力を得て、同施設の環境衛生保持に努める。

日本スポーツマスターズ医療救護班の構成に関する留意事項

本留意事項は日本スポーツマスターズにおいて各競技会場に設置する救護所における医療救護班について定めるものとする。

1. 医療救護班は、医師、看護師、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー及び競技団体救護担当等で構成する。
2. 各救護所には、医師及び看護師、またはそのいずれかを必ず配置する。なお、医師の配置が困難な場合は、各競技会場の指定医療機関と連携の上、緊急時の搬送体制を確保する。また、医師は、日本スポーツ協会公認スポーツドクターの配置が望ましい。
3. 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーは、各救護所に配置することが望ましい。なお、必要に応じて、開催都道府県の近隣の都道府県に在籍する日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーを配置できる。
4. 競技団体救護担当は、開催県競技団体が各救護所に配置し、医師、看護師、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー等との連絡調整等を行う。

傷害保険の加入

選手・監督等の方を対象とした傷害保険に加入した。所定の手続きを行うことにより、定額の保険金が支払われる。

(1) 補償内容と手続きの流れ

大会期間中の急激かつ偶然な外来の事故によるケガにより、会場の救護所で臨時の応急手当（救急処置）を受け、救護所に配置された「救護台帳」に必要事項の記入がなされた方が、原則として補償の対象になる。

補償の対象者として該当し得る方には、大会終了後約1ヶ月後を目処に日本スポーツ協会から具体的な手続きに必要な書類を送付することとした。

※大会期間中に救護所へ行かず、「救護台帳」への記入がなされなかった場合は、補償の対象とすることができない場合がある。

※「救護台帳」により取得した個人情報、本大会期間中の傷害事故における保険請求業務に使用する他、引受保険会社へ提供することがある。

(2) 補償内容

※補償内容は参加区分により異なる。

(例) 選手・監督の場合（加入者1名につき）

補償内容	補償額
死亡保険金	3,000万円
後遺障害保険金	90万円～3,000万円（程度に応じる）
入院保険金	3,600円
通院保険金	2,400円

※入院・通院保険は1日につき。

※いずれも事故の日からその日を含めて180日以内を支払い対象とする。

※入院保険は180日が限度、通院保険は90日が限度となる。

医療救護班（医師・看護師・日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー＜JSPO-AT＞）配置一覧表

競技名	会場	医師												看護師												JSPO-AT												医薬品 配備有無			
		9月											10月	9月											10月	9月											10月				
		7	8	18	19	20	21	22	23	27	28	29	30	1	7	8	18	19	20	21	22	23	27	28	29	30	1	7	8	18	19	20	21	22	23	27	28		29	30	1
		土	日	水	木	金	土	日	月	金	土	日	月	火	土	日	水	木	金	土	日	月	金	土	日	月	火	土	日	水	木	金	土	日	月	金	土		日	月	火
水泳	長崎市民総合プール	1	1											1	1													1	1												○
サッカー	島原市営平成町多目的広場									1	1	1	1										1	1	1	1										1	1	1	1	○	
	島原市営陸上競技場									1	1	1											1	1	1										1	1	1		○		
テニス	長崎市総合運動公園かきどまり庭球場									1	1	1	1										1	1	1	1										1	1	1	1	○	
バレーボール	島原復興アリーナ									0	0	0	0										1	1	1	1									0	0	0	0	○		
	島原市霊丘公園体育館									0													1											0				○			
	雲仙市小浜体育館									0													1											0				○			
	佐世保市体育文化館									0	0	0	0										1	1	1	1									0	0	0	0	○		
バスケット ボール	長崎県立総合体育館									1	1	1											0	0	0										0	0	0		○		
	大村市体育文化センター									1	1	1												0	0	0									0	0	0		○		
自転車競技	佐世保競輪場									1	1												1	1											1	1			○		
ソフトテニス	長崎県立総合運動公園テニスコート									1	1												0	0											1	1			○		
軟式野球	佐世保市総合グラウンド野球場									0	0	0											1	1	1										0	0	0		○		
	佐世保市千鳥越野球場									0													1												0				○		
	大村市野球場									0	0												1	1											0	0			○		
	平戸市総合運動公園ライフカントリー 赤坂野球場									0	0												1	1											0	0			○		
	松浦市野球場									0	0												1	1											0	0			○		
ソフトボール	とぎつ海と緑の運動公園									0	0	0	0										1	1	1	1									0	0	0	0	○		
	長与総合公園ふれあい広場									0	0	0											1	1	1										0	0	0		○		
	長与総合公園運動公園広場									0	0	0											1	1	1										0	0	0		○		
バドミントン	諫早市中央体育館									0	0	0											1	1	1										1	1	1		○		
空手道	佐世保市体育文化館						1	1	1										2	2	2												0	0	0				○		
ボウリング	パラダイスボウル									0	0	0											2	2	1										0	0	0		○		
ゴルフ	長崎国際ゴルフ倶楽部			0	0	0												1	1	1									0	0	0								○		
	大村湾カントリー倶楽部			0	0	0												1	1	1									0	0	0								○		
合計		1	1	0	0	0	1	1	1	0	7	7	5	2	1	1	2	2	2	2	2	0	19	16	11	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	6	6	4	2	25	

医薬品配備一覧

No.	品 名	規 格	数量 (1セット)
1	救急絆創膏 オーキューバンエコ	M サイズ 1箱100枚	1
2	救急絆創膏 オーキューバンエコ	フリーサイズ 1箱3枚入	4
3	ステラーゼ 滅菌済	7.5cm×10cm 1箱50袋入	2
4	紙バン	9mm×10m 1箱10巻	1
5	テーピングテープ 非伸縮	50mm×12m 1箱12巻	1
6	アンダーラップテープ	70mm×25m 1巻	1
7	コールドスプレー	480ml	1
8	瞬間冷却パック	レギュラーサイズ	20
9	エコ氷のう	φ約170mm、約600ml	1
10	伸縮包帯 エコノミータイ	7.5cm×9m (伸長時) 10巻入	1
11	固定用弾力包帯 フリータイ	7.5cm×4.5m (伸長時) 6巻入	1
12	三角巾	105cm×105cm×150cm	1
13	ソフトシーネ 手指・足指用	指-M (10mm×25mm×120mm)	1
14	ソフトシーネ 上肢用	上肢用 S (20mm×80mm×630mm)	1
15	綿棒	1袋50本 (1本包装)	2
16	殺菌消毒液	80ml	1
17	脱脂綿 (カット済)	5cm×5cm 500g	1
18	アルコール含浸綿	4cm×4cm 160枚入	1
19	ガーゼはさみ		1
20	外科ピンセット		1
21	毛抜き	2種組 (先端部の幅が異なる2種)	1
22	爪切		1
23	ビニール手袋 パウダーフリー	M サイズ 100枚入	1
24	電子体温計	(ET-C232P 同等品)	1
25	手首式血圧計	(CH-657F 及び HEM-6183同等品)	1
26	バックルボックス	No1～25の1セットが入るサイズ	1

※25救護所に配備

医療救護実績一覧表（大会期間中の合計）

競技名	参加区分	切傷		打撲		捻挫		靱帯損傷		アキレス腱損傷		肉離れ		骨折・脱臼		その他		合 計			救急 搬送者
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	
水 泳	選手・監督	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	4	6	1
	競技役員等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	3	
サッカー	選手・監督	0	0	1	0	1	0	4	0	0	0	3	0	2	0	5	0	16	0	16	0
	競技役員等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
テニス	選手・監督	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	4	1	5	0
	競技役員等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
バレーボール	選手・監督	1	0	0	0	0	3	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	5	4	9	1
	競技役員等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
バスケットボール	選手・監督	1	0	4	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	9	1	10	0
	競技役員等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
自転車競技	選手・監督	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	3	0
	競技役員等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ソフトテニス	選手・監督	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3	0	0	0	2	2	6	4	10	0
	競技役員等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
軟式野球	選手・監督	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	4	0	4	0
	競技役員等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	1	3	
ソフトボール	選手・監督	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	6	0	6	0
	競技役員等	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	その他	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
バドミントン	選手・監督	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	2	0
	競技役員等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
空手道	選手・監督	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	3	3	0
	競技役員等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ボウリング	選手・監督	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	競技役員等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ゴルフ	選手・監督	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	競技役員等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	選手・監督	3	0	10	3	6	6	5	0	1	1	13	0	3	3	16	4	57	17	74	2
	競技役員等	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	3	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	5	1	6	
	計	3	0	11	3	6	6	5	0	1	1	13	0	3	3	22	6	64	19	83	

暑熱対策に関する対応方針

【大会前】

1. 救護所等において参加者が積極的に身体冷却を行えるような環境を整備（可能な限り複数の冷却方法を準備）する。
2. 万一に備えた救急体制を構築し、救護所における熱中症に特化した対応（救急車の要請⇒涼しい場所への避難⇒身体冷却）を、速やかに実施できるように準備する。
3. 参加チーム・参加者に対して、本対応方針の内容を周知する。
4. 運営スタッフに対する熱中症に関する教育（予防、初期症状、早期発見、初期対応、救急処置等）を行うとともに、当日の役割分担に応じた適切な休憩時間などの設定を行う。

※ [スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック](#)

5. 屋外競技の各会場において、競技会開始日の前日に暑さ指数（WBGT）を測定する機器の動作確認を行う。

※ 機器に不具合がある場合は、大会実施本部へ連絡すること。



〈参加チーム・参加者〉

- 熱中症に関する情報（症状や予防方法等）を確認し、暑熱順化や個人としての対策（飲料や冷却手段*、服装等）を準備すること。
 - ※ 運動前（プレクーリング）、運動中、ハーフタイムなどの休憩時、運動後における競技特性に応じた方法
 - ※ 持病や内服薬によっては熱中症に対するリスクが高まるため、適宜、主治医に相談すること。
- 体調管理（睡眠や食事）の徹底とともに、大会参加1週間前からは体調チェック（体温や特記事項を記録）を毎日実施し、大会参加時に記録した内容を持参すること（様式は問わず提出は不要）。

〈運営スタッフ〉

- 体調管理（睡眠や食事、暑熱順化を含む）の徹底とともに、大会当日に向けた個人としての対策（飲料や冷却手段、帽子や服装等）を準備すること。

【大会期間中】

1. 屋外競技においては、各会場において定められたタイミングや場所・方法で、各競技の運営スタッフによる暑さ指数（WBGT）の測定・記録を実施する。
 - ※ 本大会の屋内競技の各施設は空調を完備しているため、大会実施本部としては暑さ指数（WBGT）の測定・記録を実施しない。
 - ※ 測定した結果は、JSPO 所定のスプレッドシートに随時入力すること。暑さ指数（WBGT）31℃以上になった場合は、別途、大会実施本部に連絡し、所定の対応を講じること。31℃以上になった場合は可能な範囲で複数回測定すること。

【タイミング・測定場所】

別表参照

【方法】

- ・黒球に日射を当てる（黒球が陰にならない）
- ・地上から1.1m 程度の高さで測定
- ・壁等の近くは避ける
- ・値が安定してから（10分程度）測定値を読み取る
- ※ 屋外での計測は熱中症の危険性が高まるため、測定者は事前に水分補給をし、帽子を被るなどの対策をすること
- ※ [環境省「屋外日向の暑さ指数計の使い方」\(PDF\)](#)



2. JSPO 作成の「[熱中症予防運動指針](#)」に基づき、暑さ指数（WBGT）31℃以上の場合、屋外競技においては、原則として競技を中止とする。

なお、測定のタイミングや試合・競技の進行状況によっては、予め中央競技団体と開催県競技団体が確認した方針（下表参照）や競技規則等に則って対応する。

競技	測定のタイミング/場所	規程等	概要
サッカー	試合開始前、試合中	JFA 暑熱対策ガイドライン	【試合中実測値が WBGT31℃以上になった場合】 ・試合を中止・中断又は延期する ※ガイドラインで定めた対応を実施した場合に限り、主催者判断で試合を実施することができる 【主な対応内容】 ・試合時間の短縮、ハーフタイムの時間の延長、クーリングブ레이크または飲水タイムの採用
	(開始前) ピッチ上 (試合中) ピッチに近い場所		
テニス	大会開催中、1時間、または、30分毎	熱中症予防 JTA 公式テニストーナメント開催ガイドライン	WBGT32.2℃以上 プレーの一時的中止
	会場内の適切な位置		WBGT30.1℃以上 ヒートルールの適用 WBGT28℃以上 頻繁な休息（水分・塩分の補給、体表冷却手段の提供）
自転車競技	競技開始の1時間前から1時間毎（終了予定の1時間前まで） バンク近くの測定可能な場所		WBGT31℃以上の場合、原則として競技を中止とする（大会全体の方針）
ソフトテニス	常時観測（記録は1時間毎）		【WBGT31℃以上】 ・原則マッチ（試合）を中断し、休憩時間をとる（水分補給や身体冷却のための時間をとる） 【暑さが予想される場合】 ・ルールや慣例に囚われない水分補給、タイム時の日傘等身体冷却備品の使用許可 ・マッチ（試合）をしない4ペアのコート外での休憩
	大会使用コート付近		
軟式野球	開始前、2回、4回終了後、試合終了後	JSBB 熱中症予防対策ガイドライン	WBGT35℃以上 試合の中止や順延を判断
			WBGT33℃以上 試合の中止や順延、時間変更を判断
	活動に支障がなく、運動実施個所になるべく近いところ		WBGT31℃以上 原則、試合は中止、中断、順延とする ※ JSBB 危機管理マニュアル（熱中症項目）の大会運営側の対応ならびに試合中のクーリングブレイクの確保が十分に取られている場合は主催者の判断において実施することができる ※ 試合中に WBGT33℃を超えた場合は、試合を中止または中断する
			WBGT28℃以上31℃未満 JSBB 危機管理マニュアル（熱中症項目）に準じて試合を実施することができる
ソフトボール	試合開始前、給水タイム毎		WBGT31℃以上の場合、原則として競技を中断し、今後の天候により中止、順延、時間変更の判断をする。 ※給水タイム（クーリングブレイク）を球審の判断で頻度調整（基本は2イニング毎、状況により3イニング毎）。片方の攻撃が長い（目安として20分以上）場合、球審の判断で試合途中で給水タイムを設ける。
	バックネット近く		
ゴルフ	常時観測（記録は1時間毎）		WBGT33℃以上の場合、原則としてプレーを中断する。 WBGT31℃を超えることが予想される場合、または開催コースから要請があった場合、9ホール後に30分の休憩をとらせる（この休憩時間は規則上のラウンド中となる）。

3. 競技の中止に伴う対応は以下のとおりとする。

【競技日程（開始・終了時刻、試合数、実施会場等）の変更】

関係者間（JSPO、開催県、中央競技団体、開催県競技団体）で協議し、適宜、参加チーム・参加者の意向を確認した上で決定する。ただし、競技会最終日の終了時刻は、原則として当初の終了予定時刻より遅い時刻には変更しない。

【競技会の全日程を終了できなかった場合の順位・成績の取扱い】

中央競技団体は、以下の判断基準により作成した案を大会実施本部に報告・協議した上で順位・成績を決定する。

なお、ベスト8を確定しない競技会実施方法の場合は、ベスト8をベスト4に読み替えるなどの運用とする。

〈ベスト8以上が出揃っている場合〉

順位は、競技会終了時点における最高成績の全チームを1位として取り扱う。

例：決勝が実施できなかった場合は、決勝に進出した2チームを1位とする。

ただし、準々決勝・準決勝等の各段階のすべての試合が終了していない場合は、各段階まで進出した全チームを同順位とする。

例：準々決勝4試合（準決勝2試合）がすべて終了していない場合、準々決勝進出8チーム（準決勝進出4チーム）は同順位とする。

〈ベスト8以上が出揃っていない場合〉

順位は空位とし、確定しない。

4. 暑さ指数（WBGT）の測定結果に関わらず、選手や運営スタッフの不調による競技の中断や中止等に伴う対応については、予め中央競技団体と開催県競技団体が確認した方針や競技規則等に則って対応する。ただし、事案の発生状況や競技会の進行状況等を踏まえ、可能な限り柔軟な運用を行うものとする。

〈参加チーム・参加者〉

- 大会期間中も体調チェック（体温や特記事項を記録）を毎日実施し、体調の状態や当日の気象予報、環境省「[熱中症予防情報サイト](#)」における暑さ指数（WBGT）の実況と予測を踏まえ、熱中症のリスクが高いと判断される場合は、競技参加を取り止めること。

※ [環境省「熱中症予防情報サイト」](#)

[（全国の暑さ指数）暑さ指数の実況と予測](#)



- 当日の気象予報、暑さ指数（WBGT）に関係なく、競技中に熱けいれんや熱疲労の症状（頭痛、めまい、吐き気、嘔吐、脱力感、倦怠感など）を自覚した際には、審判に症状を伝えるとともに、水分補給や休憩などの必要な対応を求めること。

〈運営スタッフ〉

- 担当当日の体調の状態や気象予報、環境省「[熱中症予防情報サイト](#)」における暑さ指数（WBGT）の実況と予測を踏まえ、熱中症のリスクが高いと判断される場合は、担当の変更を申し出るなどの対応を講じること。

※ [環境省「熱中症予防情報サイト」](#)

[（全国の暑さ指数）暑さ指数の実況と予測](#)



- 当日の気象予報、暑さ指数（WBGT）に関係なく、業務中に熱けいれんや熱疲労の症状（頭痛、めまい、吐き気、嘔吐、脱力感、倦怠感など）を自覚した際には、運営スタッフに症状を伝えるとともに、水分補給や休憩などの必要な対応を求めること。

企業協賛概要

◎協賛企業について

本大会の協賛区分は、オフィシャルスポンサー、大会サプライヤー、大会サポーターの3区分を設定した。各協賛企業は次の通りとなった。

区分	社名	協賛カテゴリー	社名	協賛カテゴリー
オフィシャルスポンサー	ミズノ株式会社	スポーツ用品※アパレルを含む	東武トップツアーズ株式会社	旅行業務とそれに付随する業務
大会サプライヤー	株式会社セレスポ	イベント設置業務		
大会サポーター	株式会社ミカサ	試合球(バレーボール・バスケットボール・サッカーボール)	生活協同組合ララコープ	共同組合

※その他公益財団法人ミズノスポーツ振興財団から助成

◎協賛内容の実績

(広告・看板)

内容		オフィシャルスポンサー		大会サプライヤー	大会サポーター	
		ミズノ	東武トップツアーズ	セレスポ	ミカサ	ララコープ
協賛社単独看板	水泳	ロゴ	ロゴ	—	—	—
	サッカー	ロゴ	ロゴ	—	—	—
	テニス	ロゴ	ロゴ	—	—	—
	バレーボール	ロゴ	ロゴ	—	—	—
	バスケットボール	ロゴ	ロゴ	—	—	—
	自転車競技	ロゴ	ロゴ	—	—	—
	ソフトテニス	ロゴ	ロゴ	—	—	—
	軟式野球	ロゴ	ロゴ	—	—	—
	ソフトボール	ロゴ	ロゴ	—	—	—
	バドミントン	ロゴ	ロゴ	—	—	—
	空手道	ロゴ	ロゴ	—	—	—
	ボウリング	ロゴ	ロゴ	—	—	—
	ゴルフ	ロゴ	ロゴ	—	—	—
協賛社コンポジット看板		ロゴ	ロゴ	ロゴ	ロゴ	ロゴ
開会式タイトル看板		ロゴ	ロゴ	ロゴ	ロゴ	ロゴ
記録掲示板表記		ロゴ	ロゴ	—	—	—
のぼり旗		ロゴ	ロゴ	—	—	—
競技別プログラム(13競技)広告		カラー1頁	カラー1頁	カラー1頁	モノクロ1頁	モノクロ1頁

(ブース、提供品等)

内容			オフィシャルスポンサー		大会サプライヤー	大会サポーター	
			ミズノ	東武トップ ツアーズ	セレスポ	ミカサ	ララコープ
ブ ー ス 展 開	開会式(前夜祭)		ホテルニュー長崎	商品展示	—	—	—
	水泳	(男女)	長崎市民総合プール	—	ツアーデスク	—	—
	サッカー	(男)	島原市営平成町多目的広場	—	ツアーデスク	—	—
			島原市営陸上競技場	—	ツアーデスク	—	—
	テニス	(男女)	長崎市総合運動公園かきどまり庭球場	—	ツアーデスク	—	—
	バレーボール	(男)	島原復興アリーナ	—	ツアーデスク	—	—
			島原市豊丘公園体育館	—	ツアーデスク	—	—
			雲仙市小浜体育館	—	ツアーデスク	—	—
	バスケットボール	(男)	佐世保市体育文化館	—	ツアーデスク	—	—
		(男女)	長崎県立総合体育館	—	ツアーデスク	—	—
	自転車競技	(男女)	大村市体育文化センター	—	ツアーデスク	—	—
	ソフトテニス	(男女)	佐世保競輪場	—	ツアーデスク	—	—
	軟式野球	(男女)	長崎県立総合運動公園テニスコート	ストリングサービス	ツアーデスク	—	—
			佐世保市総合グラウンド野球場	—	ツアーデスク	—	—
			佐世保市千鳥越野球場	—	ツアーデスク	—	—
			大村市野球場	—	ツアーデスク	—	—
			平戸市総合運動公園ライフカントリー赤坂野球場	—	ツアーデスク	—	—
	ソフトボール	(男)	松浦市野球場	—	ツアーデスク	—	—
			とぎつ海と緑の運動公園	—	ツアーデスク	—	—
			長与総合公園ふれあい広場	—	ツアーデスク	—	—
バドミントン	(男女)	長与総合公園運動公園広場	—	ツアーデスク	—	—	
		諫早市中央体育館	—	ツアーデスク	—	—	
空手道	(男女)	佐世保市体育文化館	—	ツアーデスク	—	—	
ボウリング	(男女)	パラダイスボウル	—	ツアーデスク	—	—	
ゴルフ	(男)	長崎国際ゴルフ倶楽部	—	—	—	—	
	(女)	大村湾カントリー倶楽部	—	—	—	—	
会期前資料送付			チラシ (各競技)	—	—	チラシ (バレーボール・ バスケットボール・ サッカーボール)	—
資料封入物	前夜祭		—	—	—	—	—
	各競技監督会議		—	—	チラシ	—	—
資料袋提供(社名入り)			10,000枚	—	—	—	—
VIK			ナップ袋等	宿泊輸送業務	—	競技用ボール	—
大会特設ホームページ表記			ロゴ・社名	ロゴ・社名	ロゴ・社名	ロゴ・社名	ロゴ・社名
前夜祭	CF 素材		30秒×1回	30秒×1回	—	—	—
	招待者数		5名	5名	2名	—	2名
	懇談会		1名	1名	—	—	—

各会場看板・ブース設置位置

競技	種別	会場	スポンサー ローテーション	A 競技名(入口)看板			B コンボシート看板			C 競技会看板			D スポンサー看板(2枚)			E 高橋博光展 開会式でメインステージホスト			財団法人JKA	
				①②③	サイズ W×H	設置場所	素材	サイズ W×H	設置場所	素材	サイズ W×H	設置場所	素材	サイズ W×H	設置場所	素材	サイズ W×H	設置場所	素材	サイズ W×H
開会式	(全男)	赤川二ノ宮・長崎	長崎市	東京 トップ アース	900×1,800	会場入口	パネル	900×1,800	会場入口	パネル	1,800×1,800	審判席入口								
	(男女)	長崎市総合体育館	長崎市	東京 トップ アース	900×1,800	会場入口	パネル	900×1,800	会場入口	パネル	8,100×1,800	50mゴール裏方	パネル	3,600×900	50mゴール裏方	パネル	3,600×1,800	2F観衆席		
サッカー	(男子)	長崎市総合体育館	長崎市	東京 トップ アース	900×1,800	会場入口	パネル	900×1,800	会場入口	パネル	8,100×1,800		キャンバスマント	4,800×1,200	キャンバスマント	パネル	1,800×1,800	弁当付近		
	(男子)	長崎市総合体育館	長崎市	東京 トップ アース	900×1,800	会場入口	パネル	900×1,800	会場入口	パネル	8,100×1,800		キャンバスマント	2,400×600	キャンバスマント	パネル	1,800×1,800	弁当付近		
テニス	(男子)	長崎市総合体育館	長崎市	東京 トップ アース	900×1,800	会場入口	パネル	900×1,800	会場入口	パネル	8,100×1,800		キャンバスマント	2,400×600	キャンバスマント	パネル	1,800×1,800	メインスタンド		
	(男子)	長崎市総合体育館	長崎市	東京 トップ アース	900×1,800	会場入口	パネル	900×1,800	会場入口	パネル	8,100×1,800		キャンバスマント	4,800×1,200	キャンバスマント	パネル	3,600×1,800	観衆席		
バレーボール	(男子)	長崎市総合体育館	長崎市	東京 トップ アース	900×1,800	会場入口	パネル	900×1,800	会場入口	パネル	8,100×1,800		キャンバスマント	3,600×900	キャンバスマント	パネル	1,800×1,800	ポイン		
	(男子)	長崎市総合体育館	長崎市	東京 トップ アース	900×1,800	会場入口	パネル	900×1,800	会場入口	パネル	8,100×1,800		キャンバスマント	2,400×600	キャンバスマント	パネル	1,800×1,800	ポイン		
バスケ	(男子)	長崎市総合体育館	長崎市	東京 トップ アース	900×1,800	会場入口	パネル	900×1,800	会場入口	パネル	8,100×1,800		キャンバスマント	2,400×600	キャンバスマント	パネル	1,800×1,800	ポイン		
	(男子)	長崎市総合体育館	長崎市	東京 トップ アース	900×1,800	会場入口	パネル	900×1,800	会場入口	パネル	8,100×1,800		キャンバスマント	2,400×600	キャンバスマント	パネル	1,800×1,800	ポイン		
バドミントン	(男子)	長崎市総合体育館	長崎市	東京 トップ アース	900×1,800	会場入口	パネル	900×1,800	会場入口	パネル	8,100×1,800		キャンバスマント	2,400×600	キャンバスマント	パネル	1,800×1,800	ポイン		
	(男子)	長崎市総合体育館	長崎市	東京 トップ アース	900×1,800	会場入口	パネル	900×1,800	会場入口	パネル	8,100×1,800		キャンバスマント	2,400×600	キャンバスマント	パネル	1,800×1,800	ポイン		
ボウリング	(男子)	長崎市総合体育館	長崎市	東京 トップ アース	900×1,800	会場入口	パネル	900×1,800	会場入口	パネル	8,100×1,800		キャンバスマント	2,400×600	キャンバスマント	パネル	1,800×1,800	ポイン		
	(男子)	長崎市総合体育館	長崎市	東京 トップ アース	900×1,800	会場入口	パネル	900×1,800	会場入口	パネル	8,100×1,800		キャンバスマント	2,400×600	キャンバスマント	パネル	1,800×1,800	ポイン		
ゴルフ	(男子)	長崎市総合体育館	長崎市	東京 トップ アース	900×1,800	会場入口	パネル	900×1,800	会場入口	パネル	8,100×1,800		キャンバスマント	2,400×600	キャンバスマント	パネル	1,800×1,800	ポイン		
	(男子)	長崎市総合体育館	長崎市	東京 トップ アース	900×1,800	会場入口	パネル	900×1,800	会場入口	パネル	8,100×1,800		キャンバスマント	2,400×600	キャンバスマント	パネル	1,800×1,800	ポイン		

現地調査

日本スポーツマスターズ委員会では、日本スポーツマスターズ戦略プラン2023-2027に掲げられた諸施策の評価・検証等を目的に、以下のとおり各種調査活動を実施した。また、令和7年2月19日開催の令和6年度第2回日本スポーツマスターズ委員会において調査概要を報告した。

報告にあたり、アンケート調査およびヒアリング調査にご協力いただいた方々に厚くお礼申し上げます。

1. 参加者対象アンケート調査（長崎大会・会期中）
2. 主管競技団体対象ヒアリング調査（令和7年1月）※令和6年6月予備調査
3. 自治体対象ヒアリング調査（令和7年1月）※令和6年6月予備調査
4. 大会開催の経済波及効果の推計（令和6年12月）

○サマリー

1. 日本スポーツマスターズ参加者対象の調査では、1,323名の回答が得られた。回答者の約7割が男性で、前回の福井大会より女性比が低下した。年齢層は40代が4割弱、50代が3割強と高めであった。競技別ではバレーボール、軟式野球、ボウリングの回答率が高く、福井大会と比べバレーボール、ソフトボール、軟式野球、ボウリング、サッカーの割合が増加し、ソフトテニス、バスケットボール、バドミントン、テニスの割合が減少した。本大会は競技志向が強く、競技レベルの高い大会として認識され、参加満足度も高かった。リピーター率は6割強で、初参加者は3割強であった。参加費については7割強が「高い」と評価し、過去の大会よりもその割合が増加した。再参加希望者は9割弱で、福井・岩手大会と同様の傾向を示した。主な不満点は参加費（34.3%）、交通アクセス（27.0%）、開催日程（22.3%）で、特に参加費の不満が福井大会より増加した。大会を総合大会として認識する割合は7割強で、8割が大会を高い位置づけと考えていた。また、参加者の74.7%がスポーツ・ボランティアを行っており、一般成人よりも高い割合でスポーツ界に貢献していることが明らかになった。
2. 主管競技団体を対象にヒアリング調査を実施した。マスターズ大会では、地域住民と参加者の交流やPR効果が見られたが、競技人口拡大への直接的な影響は限定的だった。経済効果としては、宿泊施設の満室、観光地訪問、地元特産品のSNS投稿が確認された。シニア世代の活躍や世代間交流は好意的に受け取られた。大会運営は概ね円滑に進み、選手や観客から良好な評価を得たが、一部の競技では準備期間の短さや役員不足が課題とされた。しかし、地域連携やボランティアの協力により対応が図られた。表彰方法や競技進行の工夫が参加者の満足度向上に寄与した。総合大会としての認識が薄い競技もあったが、国際交流や前夜祭などがその意義を深めた。今後の課題として、情報共有の迅速化、医療スタッフや設備の充実、運営費用の補助拡大、競技特有の要件（採点システムや練習環境）の整備が求められた。参加費に対する不満の声もあったが、大会の価値を評価する声も多かった。財務構造の理解と事前説明が必要とされた。成功事例として、波佐見焼を活用した記念品が高評価を得たほか、地域ボランティアとの協力や韓国チームとの国際交流が新たな繋がりを生んだ。次回大会に向けては、早期準備と計画的運営、役割分担の明確化、負担の少ない大会設計が求められる。
3. 自治体を対象にヒアリング調査を実施した。マスターズ大会の開催により、宿泊施設の利用や地元特産品の購入を通じた経済波及効果が一部の自治体で確認されたが、宿泊施設が少ない地域では効果が限定的だった。地域特産品の提供によるPRや住民のスポーツ認知向上が図られた例もあったが、住民やボランティアの参加が限定的な自治体もあり、地域振興の波及効果にはばらつきが見られた。多くの自治体は競技団体や県との連携を強調したが、情報共有や調整不足が課題として指摘された。大会全体としては概ね良好な評価を得た。総合大会としての意義は一部で認識されたが、多くの自治体では個別競技の運営に集中し、総合性を実感しづらかった。一方、日韓交流を通じてその意義を認識した事例もあった。参加者の満足度向上には適切な運営、ホスピタリティ、特産品のおもてなしが寄与した。成功事例として、波佐見焼のメダルや特産品を活用したおもてなしが高評価を得た。次回大会に向けては、早期準備と情報共有の改善、地元特産品を活かしたPR、自治体と競技団体の連携強化が求められる。

4. 大会開催の経済波及効果を推計した。大会運営費と施設整備費を含めない大会開催に係る経済波及効果は9億円と推計された（岐阜：8億1,300万円→岩手：5億1,800万円→福井：6億6,000万円）。

○結果の概要

1. 参加者対象アンケート調査（長崎大会・会期中）

1-1. 参加者数と回答状況は表1および表2のとおりであった。質問紙調査票およびオンライン調査サイトから得られた回答数は、1,323票であった。バレーボール（245票）、軟式野球（231票）の回答数が多かった。全体の回答率は、19.3%であった。競技別では、ボウリング（54.3%）、軟式野球（37.7%）、サッカー（34.4%）の回答率が高かった。

表1. 回答数の内訳（競技別）

	%	n
水泳	9.1%	121
サッカー	8.0%	106
テニス	3.6%	48
バレーボール	18.5%	245
バスケットボール	5.1%	68
自転車競技	2.0%	26
ソフトテニス	4.5%	60
軟式野球	17.5%	231
ソフトボール	8.9%	118
バドミントン	2.0%	26
空手道	7.2%	95
ボウリング	9.5%	126
ゴルフ	4.0%	53
合計	100.0%	1,323

表2. 参加者数と回答数（競技別回答率）

	参加者数	回答数	回答率
水泳	904	121	13.4%
サッカー	308	106	34.4%
テニス	312	48	15.4%
バレーボール	1,162	245	21.1%
バスケットボール	952	68	7.1%
自転車競技	110	26	23.6%
ソフトテニス	285	60	21.1%
軟式野球	613	231	37.7%
ソフトボール	781	118	15.1%
バドミントン	271	26	9.6%
空手道	641	95	14.8%
ボウリング	232	126	54.3%
ゴルフ	296	53	17.9%
合計	6,867	1,323	19.3%

1-2. 性別および年齢

性別は、男性が7割強であった。前回の福井大会より女性比がかなり低くなっていた。年齢は、40歳代（4割弱）、50歳代（3割強）の構成比が高かった。

1-3. 参加競技

バレーボール、軟式野球、ボウリングの構成比が高かった。福井大会と比較し、バレーボール、ソフトボール、軟式野球、ボウリング、サッカーの構成比が高くなり、ソフトテニス、バスケットボール、バドミントン、テニスの構成比が低くなった。

1-4(1). 大会の性格～競技志向

日本スポーツマスターズは、競技志向の強い大会と理解されていた。この傾向は過去の大会と同様であった。

1-4(2). 大会の性格～競技レベル

日本スポーツマスターズは、競技レベルの高い大会と理解されていた。この傾向は過去の大会と同様であった。

1-5. 日本スポーツマスターズへの参加満足の程度

日本スポーツマスターズへの参加満足の水準は、高いものであった。この傾向は過去の大会と同様であった。

1-6. 日本スポーツマスターズの参加経験

参加者のリピーター率は6割強であった。初めて参加した人は3割強であった。

1-7. 参加費の評価

参加費については「高い」と評価する割合が7割強、「ちょうどよい」とする割合が3割弱であった。過去の大会よりも「高い」と評価する割合が高くなった。

1-8. 再参加意向

9割弱の人が再び参加したいとしていた。この傾向は、福井、岩手大会と同様であった。

1-9. 参加上の不満点

参加費（34.3%）、会場までの交通アクセス（27.0%）、大会の開催日程（22.3%）などが主な不満点であった。福井大会と比較し、参加費を不満とする割合が高くなった。

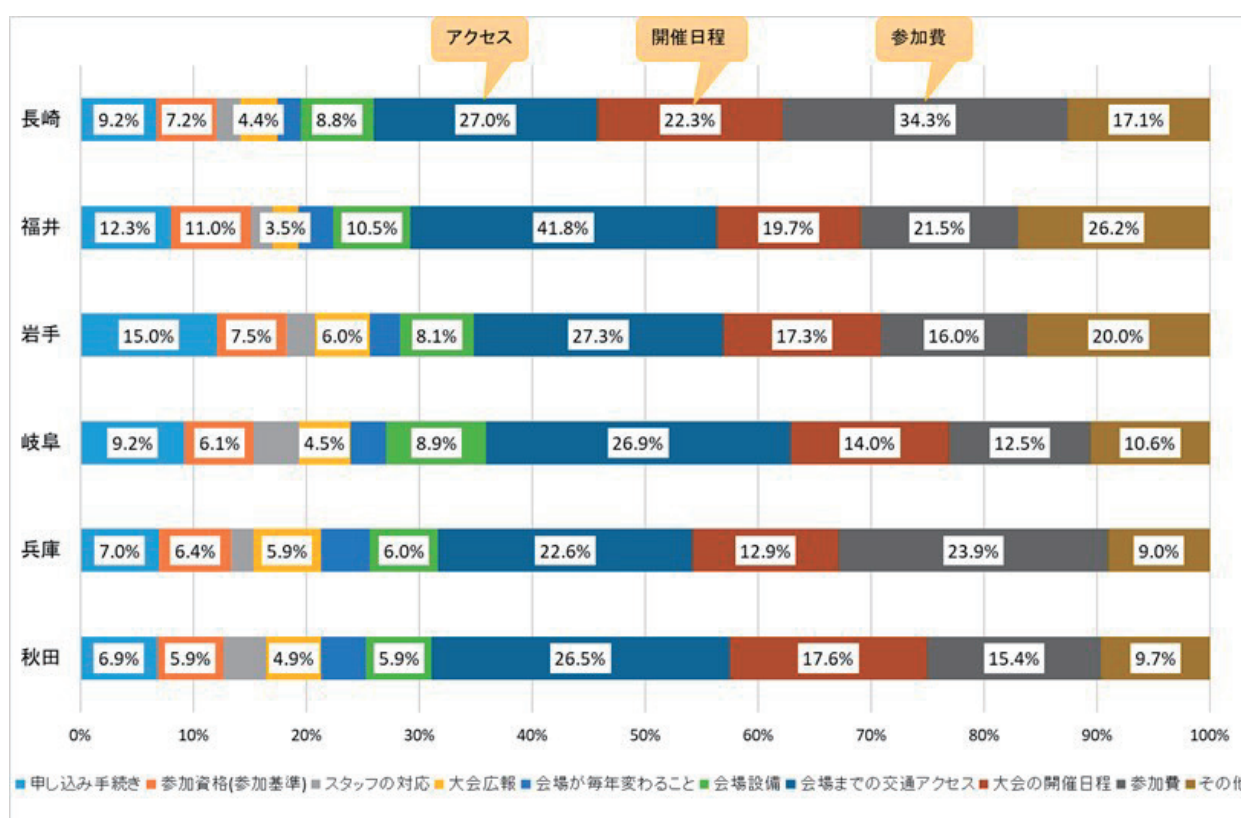


図1. 参加上の不満点

1-10. 大会の総合性

日本スポーツマスターズを総合大会として意識している回答者の割合は7割強であった。この傾向は過去の大会と同様であった。

1-11. スポーツ・ボランティア

何らかのスポーツ・ボランティアを行っている人の割合は74.7%であった。

ボランティア活動の内訳は日常的なスポーツの指導（36.8%）、日常的な団体・クラブの運営や世話（30.3%）、地域のスポーツ大会の運営や世話（28.1%）などが主なものであった。

一般成人（SSF, 2020）と比較すると、マスターズ参加者のボランティア参加率はかなり高く、スポーツ界にシニアアスリートが貢献している状況がうかがえた。

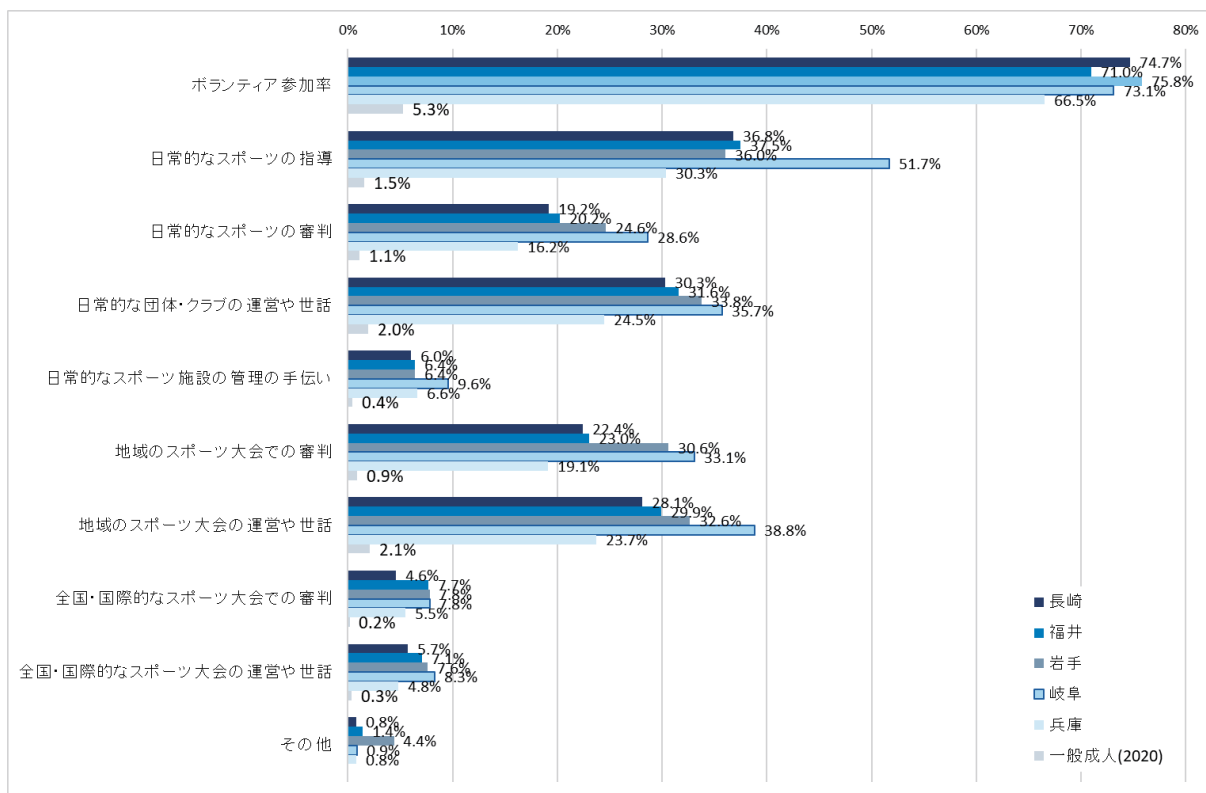


図2. スポーツ・ボランティア

† 一般成人のデータ：笹川スポーツ財団（2021）. スポーツライフデータ2020, p.118。

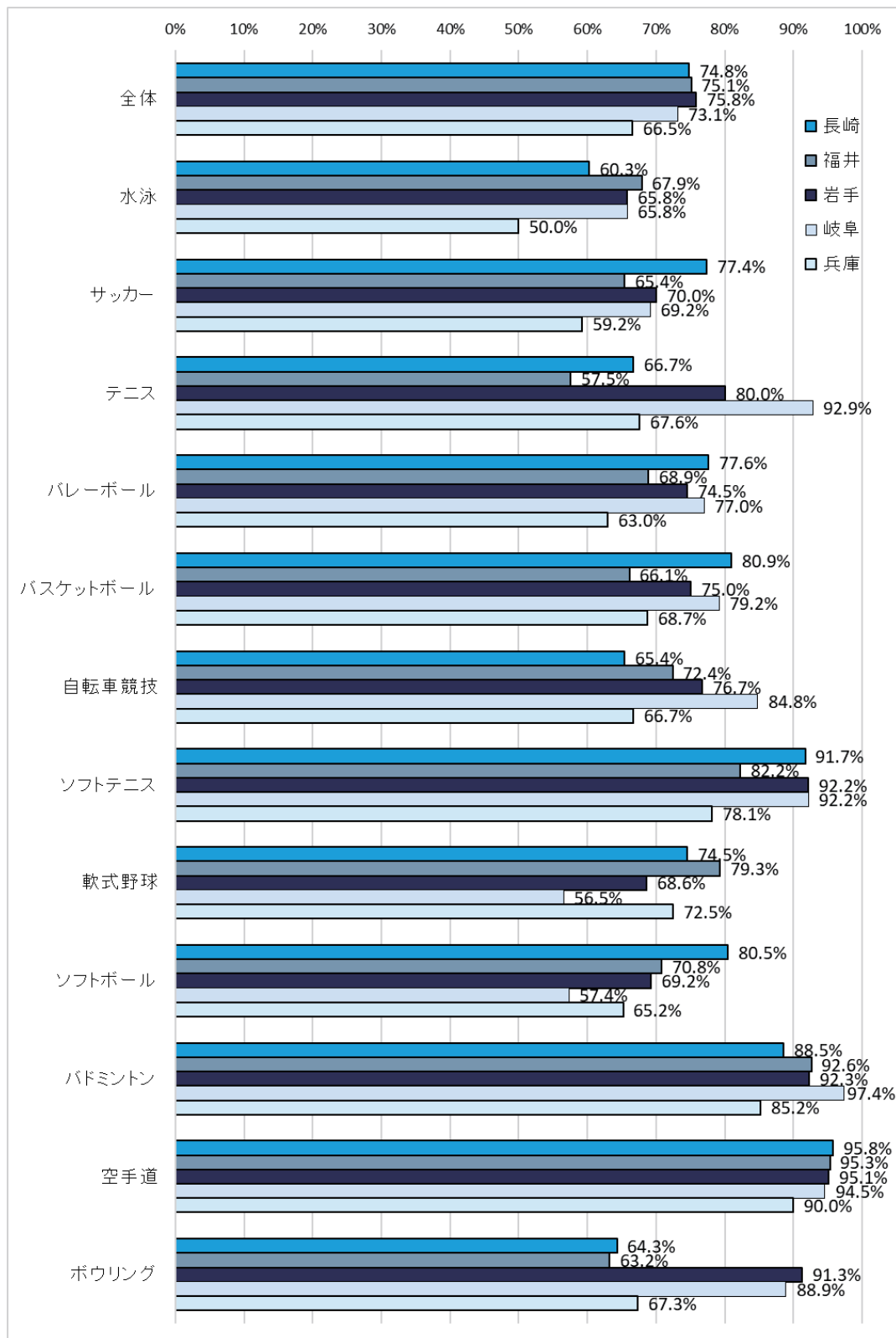


図3 スポーツ・ボランティアの参加率（競技・大会別）※ ゴルフは回答者数が少ないため除外した

1-12. マスターズの位置づけ

日本スポーツマスターズを8割の人が自分が取り組む競技の年齢別大会として、高い位置づけを持つ大会としていた。この傾向は福井、岩手大会と同様であった。

2. 主管競技団体対象ヒアリング調査（令和7年1月）※予備調査を令和6年6月に実施

表3. ヒアリング調査の対象団体

期日	主管競技団体等
1月14日	長崎県ソフトテニス連盟
1月15日	長崎県テニス協会、長崎県バレーボール協会、長崎県バドミントン協会、長崎県ボウリング連盟
1月20日	長崎県自転車競技連盟
1月21日	長崎県サッカー協会、長崎県空手道連盟
1月24日	長崎県水泳連盟

2-1. 開催の影響・効果

多くの競技で、地域住民や参加者の交流やPR効果が見られたが、競技人口拡大への直接的な影響は限定的。
経済効果として、宿泊施設の満室、観光地への訪問、地元特産品のSNS投稿などが確認された。
シニア世代の活躍や世代間交流が好意的に受け取られた。

2-2. 運営事業の位置づけ

マスターズ大会は通常の競技大会と異なり、各団体にとって新たな運営経験となった。
特に全国大会運営の未経験者にとっては人材育成の機会となり、次世代へのノウハウ継承が図られた。

2-3. 大会運営の評価

ほとんどの競技で運営が円滑に進み、選手や観客から良好な評価を得た。
一部の競技では、短期間での準備や役員の不足が課題とされたが、地域連携やボランティアの協力で対応。
表彰方法や競技進行の工夫が評価され、参加者の満足度向上に寄与。

2-4. 総合大会としての意義

総合性の認識が薄い競技が多かったが、一部の競技では国際交流や前夜祭が意義を深めた。
総合大会ならではの交流や地域活性化の側面が評価された。

2-5. JSPO および中央競技団体への要望

情報共有の早期化とコミュニケーションの円滑化が求められた。
医療スタッフや設備の充実、運営費用の補助拡大、競技特有の要件（採点システム、指定練習環境など）への対応が要望された。

2-6. 大会財務構造と参加費に関する意見

参加費に関する不満が一部見られる一方で、全国大会としての価値を評価する声も多い。
競技ごとの財務構造や参加者の満足度に影響する要因の理解と事前説明が必要。

2-7. 好事例

波佐見焼を活用した記念品は、多くの競技団体で高い評価を得た。
地域のボランティアや補助員との協力が運営を支え、地域と参加者の交流を促進。
韓国チームとの国際交流が新たな繋がりを生み出した。

2-8. 次回大会へのアドバイス

早期準備と情報収集、計画的な運営が重要。

各団体間での役割分担を明確化し、効率的な運営を目指す。
競技運営の柔軟性を保ちながら、参加者にとって負担の少ない大会設計が必要。

3. 自治体対象ヒアリング調査（令和7年1月）※予備調査を令和6年6月に実施

表4. ヒアリング調査の対象団体

期日	自治体
1月14日	長崎市、時津町
1月16日	松浦市、長与町
1月17日	佐世保市、諫早市、大村市、雲仙市
1月21日	島原市

3-1. 地域や自治体への影響

経済効果：一部の自治体では宿泊施設の利用や地元特産品の購入などを通じた経済波及効果が確認されたが、宿泊施設の少ない地域では効果が限定的だった。

地域振興：地域特産品（アジフライ、巨峰アイス、ミカンジュースなど）の提供を通じたPRや地域住民のスポーツ認知向上が図られた事例もあった。

住民参加：住民や地元ボランティアの参加が限定的な自治体も多く、波及効果にばらつきが見られた。

3-2. 運営事業の位置づけ

規模と負担：自治体の規模や施設によるが、運営負担の大小は様々。運営全体に携わった自治体もあれば、おもてなしや補助に徹した自治体もあった。

連携の必要性：各自治体が競技団体や県との連携を強調する一方で、事前の情報共有や調整不足が課題として指摘された。

3-3. 大会全体の評価

肯定的評価：ほとんどの自治体で良好な評価が得られ、特に適切な競技運営や地元特産品を通じたおもてなしが好評だった。

課題：宿泊施設不足や自治体間の連携不足、事前準備の遅れが課題として挙げられた。

3-4. 総合大会としての意義

認識の差：一部の自治体では総合大会としての意義を十分に感じたが、多くの自治体では個別競技の運営に集中し、総合性を実感しづらかった。

日韓交流：日韓交流を通じて総合大会の意義を認識した例もあった。

3-5. JSPO、県への要望

予算と情報共有：予算の配分や情報共有の早期化が求められた。特におもてなし事業や事前準備における支援拡充の必要性が指摘された。

スポンサーとの調整：スポンサー権利の制約による地元業者への影響が懸念され、地元特産品を活用した柔軟な運用が求められた。

3-6. 参加者調査の結果

満足度向上の要因：適切な運営、ホスピタリティ、特産品のおもてなしが満足度向上に寄与。

リピーター問題：参加者が固定化している懸念があり、広範なスポーツ参加機会を拡大する方策が必要。

3-7. 長崎大会が創出した好事例

波佐見焼のメダル：多くの自治体で地元のメッセージ性が高く評価された。

特産品のおもてなし：アジフライやミカンジュースなど、地域ごとの特色ある取り組みが高い評価を得た。

ボランティア活動：経験者や地元の協力者が運営を支えたが、ボランティア参加の拡充が今後の課題。

3-8. 次回大会へのアドバイス

早期準備の重要性：事前準備の早期着手と情報共有の改善が必須。

自治体の役割：地元特産品を活用したPRや参加者へのおもてなしの拡充が重要。

柔軟な運営体制：自治体間や競技団体との連携を強化し、運営負担を分散させる仕組み作りが必要。

4. 大会開催の経済波及効果の推計（令和6年12月）※参加者対象アンケート調査を活用

長崎県「経済波及効果分析ツール（平成27年長崎県産業連関表 40部門）」を用いて推計した、日本スポーツマスターズ2024長崎大会による長崎県内への経済波及効果の推計結果を表5に示す。

日本スポーツマスターズ2024長崎大会による長崎県内への経済波及効果の推計結果は、約9.0億円と推計される。

なお、コロナ禍以前のマスターズ大会における各都道府県における経済波及効果額は約7～8億円程度が一つの目安であったが（例：2019岐阜大会8.1億円）、コロナ禍による参加者数の減少等の影響で2022岩手大会（5.2億円）、2023福井大会（6.5億円）ではコロナ禍以前を若干下回る状況であった。今回、2024長崎大会においては9.0億円となり、コロナ禍以前の水準に戻った、あるいはそれをやや上回った大会であったと言える。

大会開催によって9億円台の経済波及効果額が得られたという推計結果は、日本スポーツマスターズ2024長崎大会が長崎県経済に大きな好影響を与えたと評価できる材料となりうる。また、本推計では考慮していないが、大会運営に際し様々な調達活動が行われたこと等により、本推計には含まれていない経済効果も一定規模のものがあったと考えられる。

表5. 日本スポーツマスターズ2024長崎大会による長崎県内への経済波及効果の推計結果

項目		金額 (百万円)
※需要増加額		749.0
一次直接効果 (日本スポーツマスターズ2024長崎大会の最終需要増加により直接長崎県内に生じた生産)		562.7
一次間接波及効果 (直接効果が生じることで誘発された原材料等の生産)		218.1
二次波及効果 (一次波及効果によって増加した賃金・俸給が家計消費に回ることによって誘発された生産)		119.5
日本スポーツマスターズ2024長崎大会による長崎県内への経済波及効果〔総合効果〕 ※一次 (直接効果+間接効果)+二次効果		900.3

報告責：仲澤 眞・藤井亮輔（筑波大学）、岩村 聡（帝京大学）、南 博（北九州市立大学）